

5.5 動物

5.5.1 調査結果の概要

(1) 調査項目

①動物相（哺乳類、鳥類（猛禽類を含む）、両生類、爬虫類、昆虫類）の状況

(2) 調査地域

調査地域は、計画地から約 200m の範囲とした。

(3) 調査手法

①動物相の状況

動物相調査期間は、表 5.5-1 に示すとおりである。

表 5.5-1 動物相調査期間

項目		冬季	春季	夏季	秋季
動物	哺乳類	-	平成 29 年 5 月 9 日 ～10 日	平成 29 年 7 月 20 日 ～21 日	平成 29 年 9 月 25 日 ～26 日
	鳥類	猛禽類 平成 29 年 2 月 15 日 ～16 日 一般鳥類 平成 29 年 2 月 17 日	猛禽類 平成 29 年 4 月 30 日 ～5 月 1 日 一般鳥類 平成 29 年 5 月 2 日	猛禽類 平成 29 年 6 月 26 日 ～27 日 一般鳥類 平成 29 年 6 月 28 日	猛禽類 平成 29 年 9 月 19 日 ～20 日 一般鳥類 平成 29 年 9 月 21 日
	両生類	-	平成 29 年 5 月 9 日 ～10 日	平成 29 年 7 月 20 日 ～21 日	平成 29 年 9 月 25 日 ～26 日
	爬虫類	-	平成 29 年 5 月 9 日 ～10 日	平成 29 年 7 月 20 日 ～21 日	平成 29 年 9 月 25 日 ～26 日
	昆虫類	-	平成 29 年 5 月 9 日 ～10 日	平成 29 年 6 月 13 日 平成 29 年 7 月 20 日 ～21 日	平成 29 年 9 月 25 日 ～26 日

ア. 哺乳類調査

哺乳類調査は、フィールドサイン法、自動撮影、シャーマントラップ法を用いて実施した。自動撮影については、夜行性の哺乳類を対象とし、調査地点に自動撮影機を一晩設置した。また、シャーマントラップの設置については、小型哺乳類（ネズミ類）を対象とし、調査地点に 20 個設置し、一晩放置した。

踏査ルート、自動撮影機及びシャーマントラップ設置地点を図 5. 5-1 に示す。

表 5. 5-2 哺乳類調査方法

調査方法	季節	設置日	回収日	地点名	環境
自動撮影 シャーマントラップ	春季	平成 29 年 5 月 9 日	平成 29 年 5 月 10 日	St. 1	混交林
	夏季	平成 29 年 7 月 20 日	平成 29 年 7 月 21 日	St. 2	広葉樹
	秋季	平成 29 年 9 月 25 日	平成 29 年 9 月 26 日	St. 3	スギ植林

注：地点名は図 5. 5-1 中の番号に対応する。

※シャーマントラップ法：ネズミ類を対象に、ネズミ類が行動しそうな巣穴の近く、草むら、倒木の下等に生け捕り罠（シャーマントラップ）を設置し、捕獲する方法。

※フィールドサイン法：水際、小路、土壌の柔らかい場所、草むら、樹林等、哺乳類の生息及び出没が予想される場所を踏査し、足跡、糞、食痕、巣、掘り返し等のフィールドサインを観察する方法。

イ. 両性類及び爬虫類調査

両生類及び爬虫類調査は、フィールドサイン法を用いて実施した。踏査ルートを図 5. 5-1 に示す。

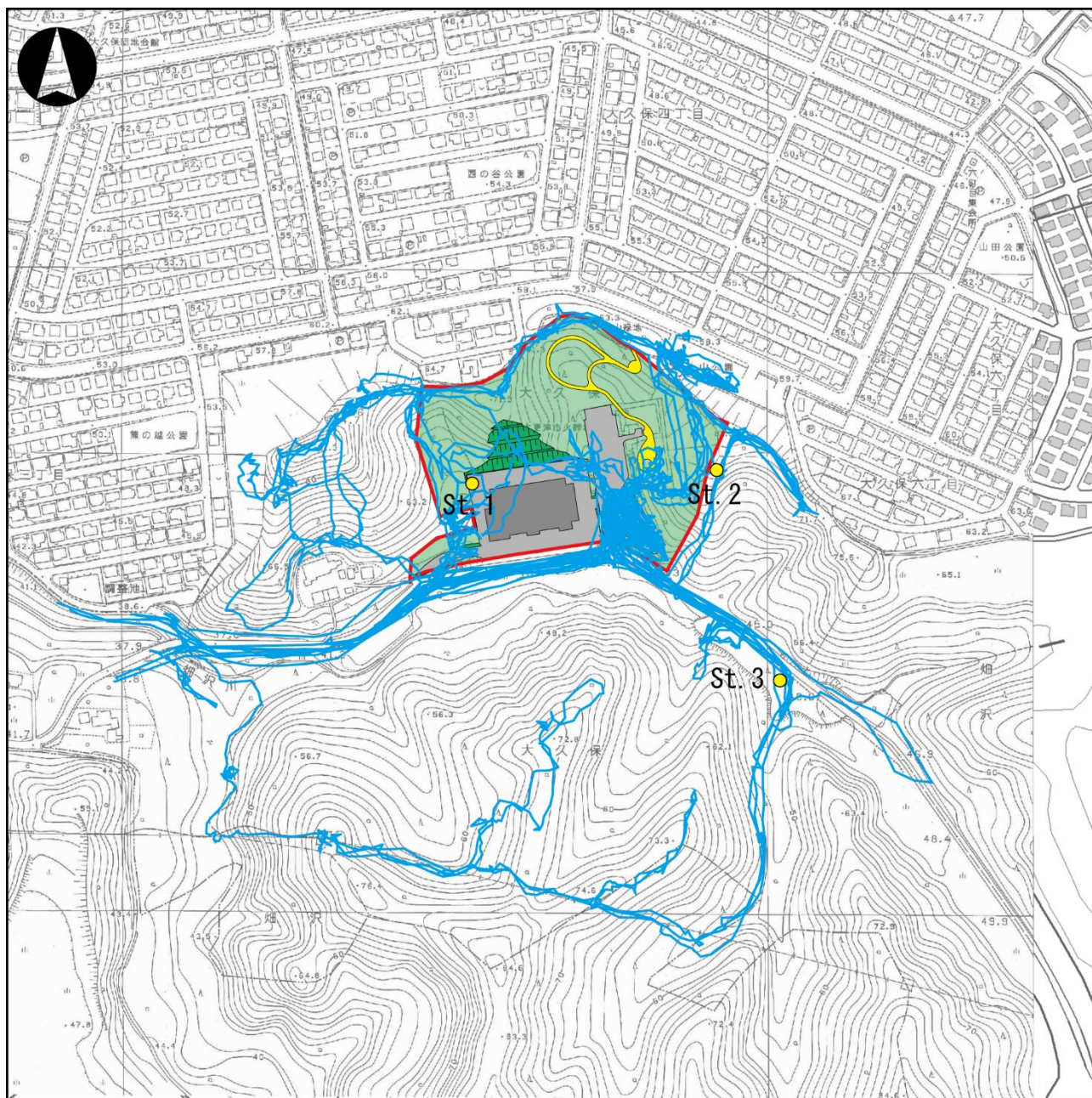
ウ. 昆虫類調査

昆虫類調査は、ライトトラップ及びベイトトラップを用いて実施した。

ライトトラップについては、調査地点にボックス式ライトトラップを設置し、灯りに誘引される昆虫類を採集した。また、ベイトトラップについては、誘引餌を入れたコップ 10 個を、口の高さが地表面と同じになるように埋め込み、落下した地表徘徊性の昆虫類を採集した。ライトトラップ及びベイトトラップの設置地点を図 5. 5-2 に示す。

表 5. 5-3 昆虫類調査方法

調査方法	季節	設置日	回収日	地点名	環境
ライトトラップ	春季	平成 29 年 5 月 9 日	平成 29 年 5 月 10 日	St. 1 St. 2	混交林 広葉樹
	夏季	平成 29 年 7 月 20 日	平成 29 年 7 月 21 日		
	秋季	平成 29 年 9 月 25 日	平成 29 年 9 月 26 日		
ベイトトラップ	春季	平成 29 年 5 月 9 日	平成 29 年 5 月 10 日	St. 1	混交林
	夏季	平成 29 年 7 月 20 日	平成 29 年 7 月 21 日	St. 2	広葉樹
	秋季	平成 29 年 9 月 25 日	平成 29 年 9 月 26 日	St. 4	草地



凡例

1 : 5,000

0 50 100 200
m



計画地



新火葬場



駐車場等



既存緑地等



造成緑地



緑地遊歩道

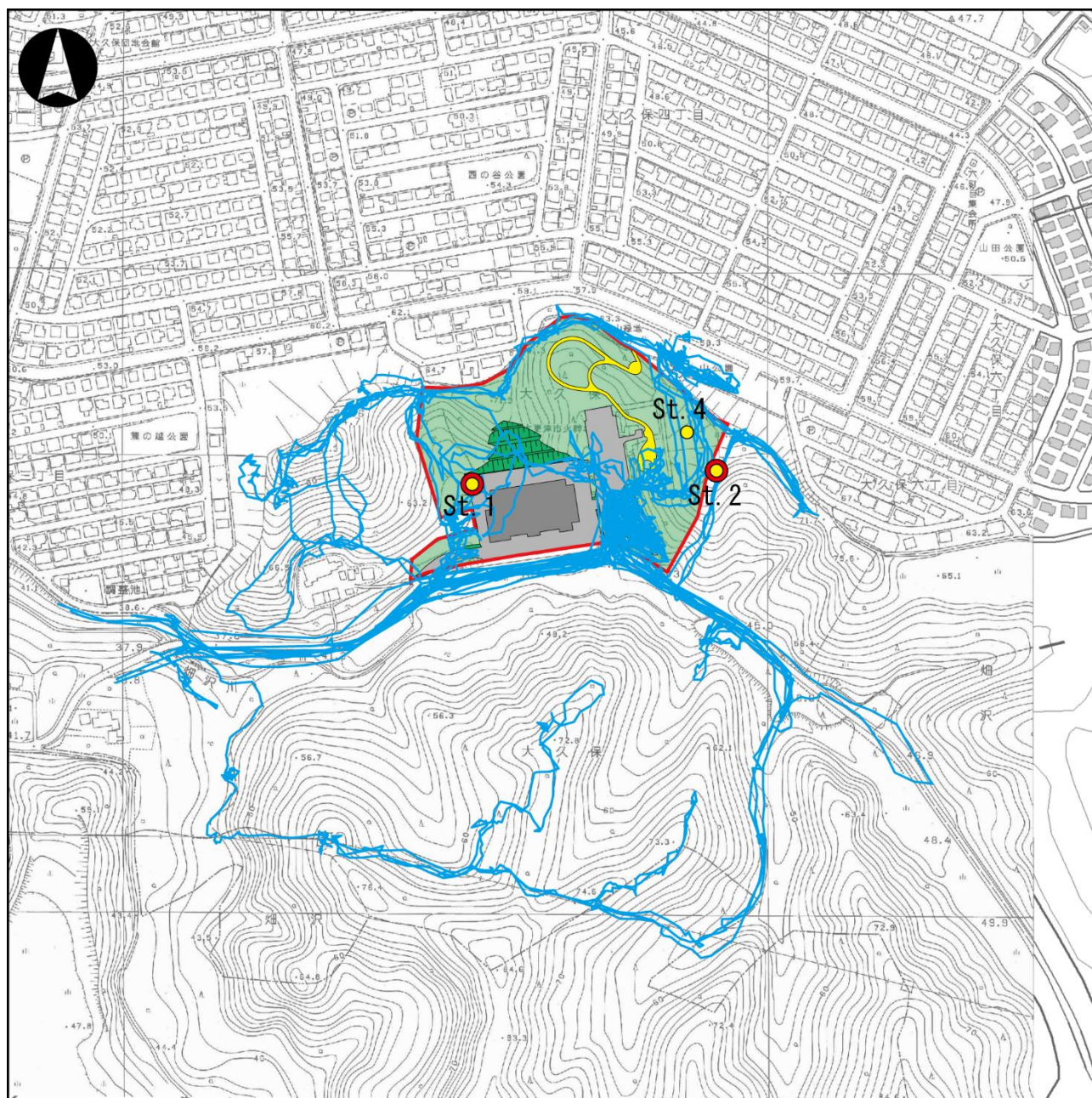


踏査ルート (哺乳類、両生類及び爬虫類)



哺乳類調査 (自動撮影及びシャーメントラップ)

図 5.5-1 調査地点図 (哺乳類・両生類・爬虫類)



凡例

1 : 5,000

0 50 100 200
m

- | | |
|---|--|
| 計画地 | ———— 踏査ルート |
| 新火葬場 | ● ライトトラップ |
| 駐車場等 | ● ベイトトラップ |
| 既存緑地等 | |
| 造成緑地 | |
| 緑地遊歩道 | |

図 5.5-2 調査地点図（昆虫類）

エ. 鳥類調査

(ア) 一般鳥類

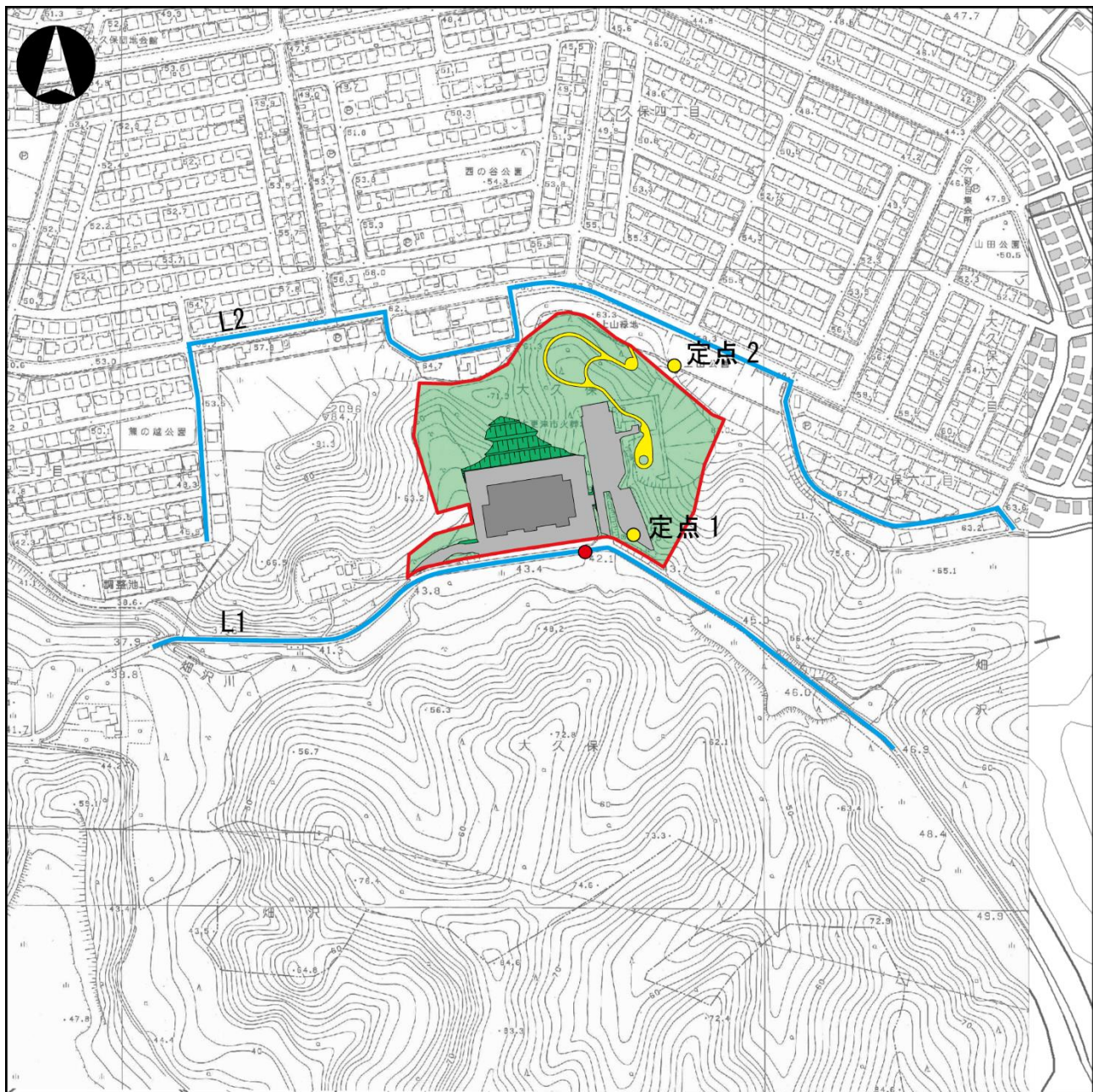
鳥類調査は、ラインセンサス法及びポイントセンサス法を用いて実施した。調査は鳥類の活動が活発になる早朝を含む時間帯で実施した。ラインセンサス法及びポイントセンサス法の実施位置を図 5.5-3 に示す。

※ラインセンサス法：一定の調査ルートの観察幅内（調査ラインより片側 25m、草原では片側 50m）に出現する種類、個体数等を直接観察あるいは鳴き声などで確認し、記録する方法。

※ポイントセンサス法：見通しのきく場所に定点（ポイント）を設定し、出現する種類、個体数等を直接観察により記録する方法。

(イ) 猛禽類

計画地及びその周辺を見渡すことができる定点を 2 か所設定し、猛禽類の活動が活発になる午前 9 時～午後 4 時まで定点観察調査を実施した。調査定点を図 5.5-3 に示す。



凡例

1 : 5,000

0 50 100 200 m



計画地



ラインセンサス調査（一般鳥類）



新火葬場



ポイントセンサス（一般鳥類）



駐車場等



定点調査（猛禽類）



既存緑地等



造成緑地



緑地遊歩道

図 5.5-3 調査地点図（鳥類）

(4) 調査結果

①動物相の状況

調査によって確認された種を分類ごとにまとめた。重要種の選定根拠は表 5.5-4 に示すとおりである。

表 5.5-4 重要種選定根拠

選定根拠		カテゴリー
①	「文化財保護法」(昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号)	特天：特別天然記念物 天：天然記念物
②	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年 6 月 5 日法律第 75 号)	国内：国内希少野生動植物種 特定：特定国内希少野生動植物種
③	「環境省レッドリスト 2017」(環境省、平成 29 年)	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 IA 類 EN：絶滅危惧 IB 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群
④	「千葉県の保護上重要な野生生物－千葉県レッドデータブック－動物編 (2011 年改訂版)」(千葉県、平成 23 年) 及び「千葉県の保護上重要な野生生物－千葉県レッドデータブック－植物・菌類編 2017 年改訂版」(千葉県、平成 29 年)	X：消息不明・絶滅生物 EW：野生絶滅生物 A：最重要保護生物 B：重要保護生物 C：要保護生物 D：一般保護生物 RH：保護参考雑種

ア. 哺乳類調査

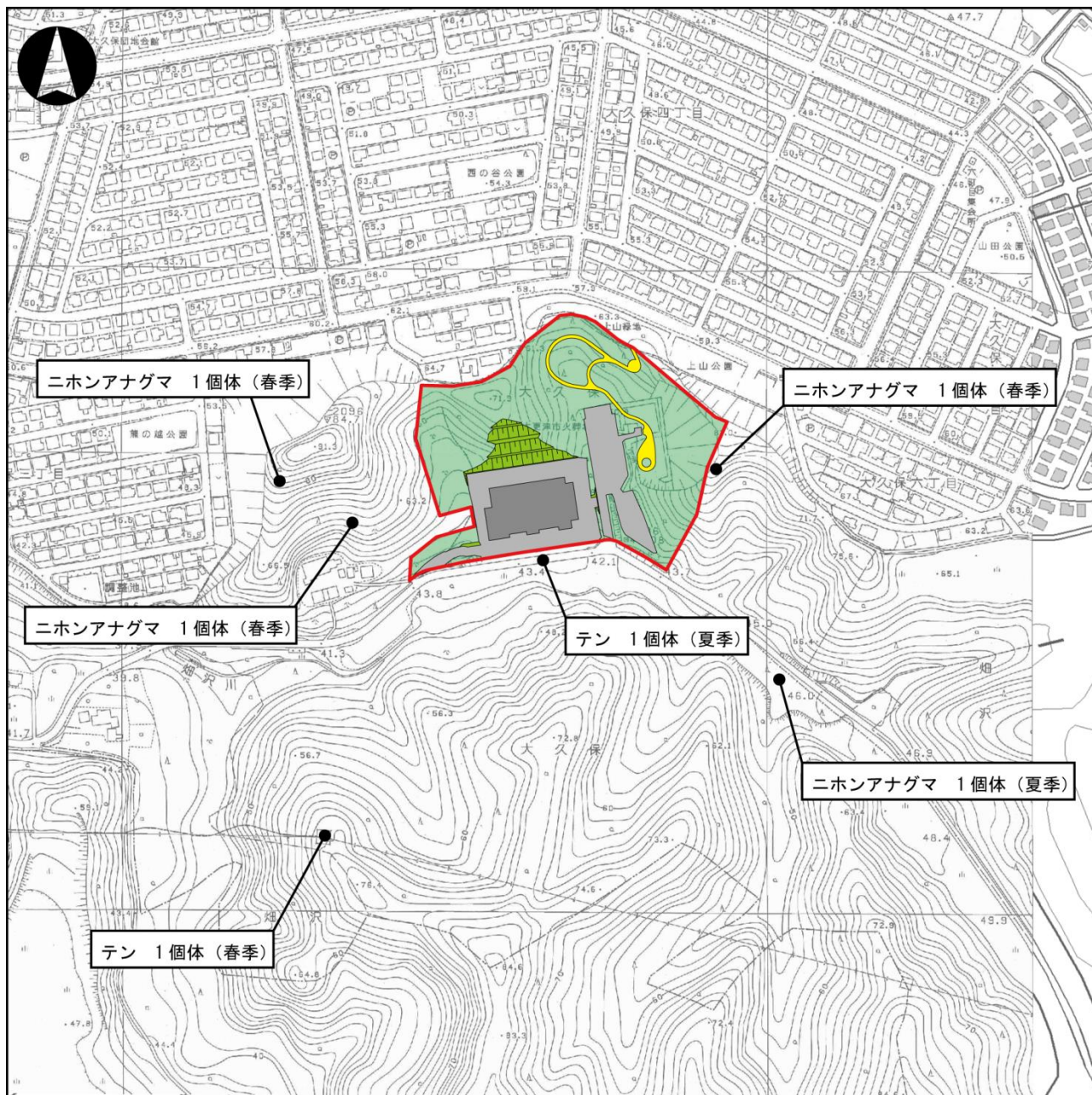
調査の結果、表 5.5-5 に示すとおり、4 目 6 科 7 種の哺乳類が確認された。

確認種のうち重要種に該当する哺乳類は、テン、ニホンアナグマの 2 種であった。重要種の確認位置を図 5.5-4 に示す。

表 5.5-5 哺乳類調査結果

	目名	科名	種名	重要種	春季	夏季	秋季	選定根拠			
								①	②	③	④
1	モグラ目	モグラ科	アズマモグラ		○	○	○				
2	コウモリ目	ヒナコウモリ科	アブラコウモリ				○				
3	ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ		○						
4	ネコ目	アライグマ科	アライグマ		○	○	○				
5		イヌ科	ノイヌ			○	○				
6		イタチ科	テン	●	○	○					D
7			ニホンアナグマ	●	○	○					C
	4 目	6 科	7 種	2 種	5 種	5 種	4 種	0 種	0 種	0 種	2 種

注：分類及び科名、種名等の配列は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(平成 28 年度リスト)に準拠した。



凡例

1 : 5,000

0 50 100 200 m

- 計画地
- 確認位置
- 新火葬場
- 駐車場等
- 既存緑地等
- 造成緑地
- 緑地遊歩道

図 5.5-4 重要種確認位置 (哺乳類)

イ. 両性類及び爬虫類調査

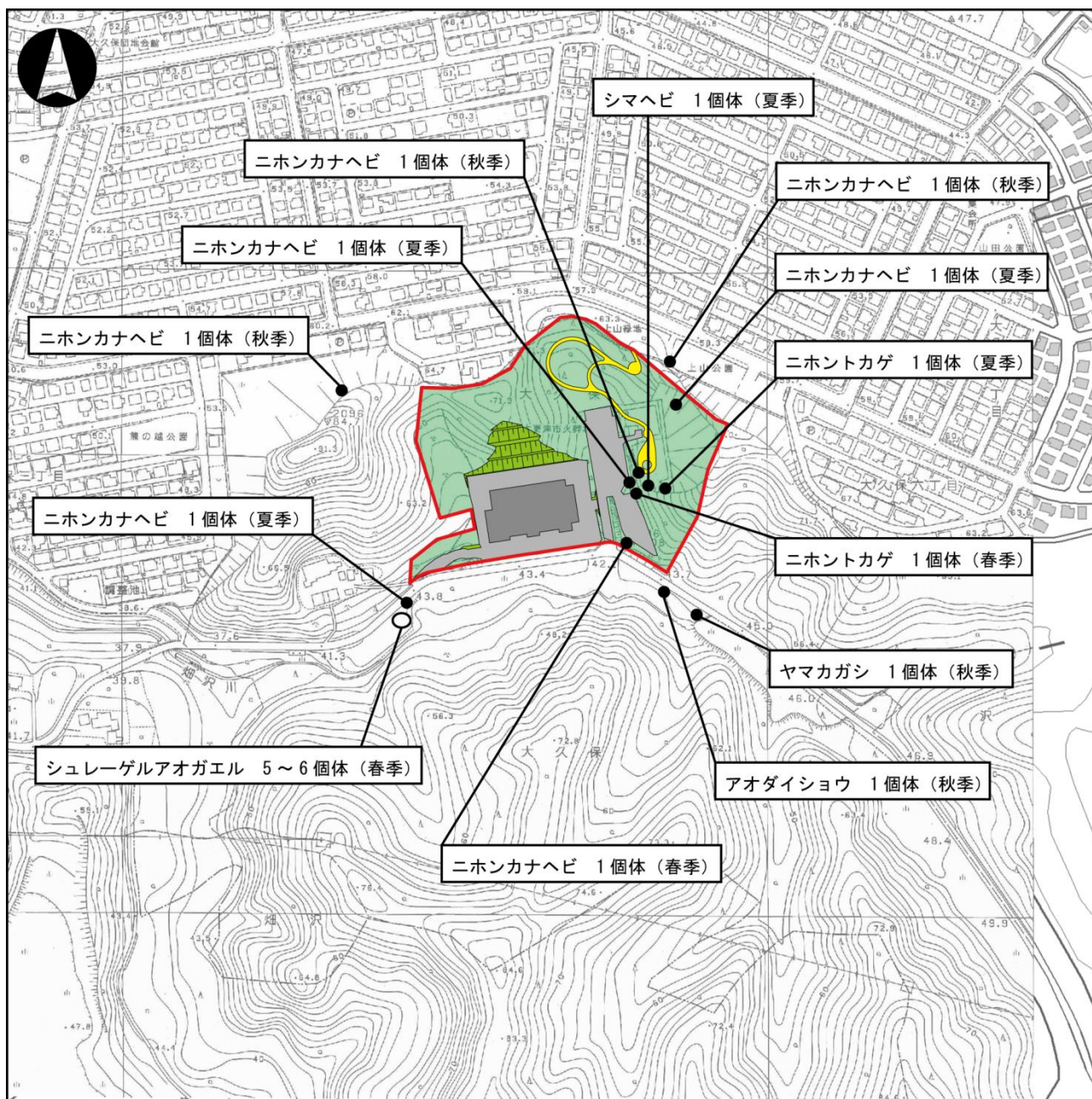
調査の結果、表 5.5-6 に示すとおり、1 目 2 科 2 種の両生類、1 目 3 科 5 種の爬虫類が確認された。

確認種のうち重要種に該当する両生類・爬虫類は、シュレーゲルアオガエル、ニホントカゲ、アオダイショウ、ヤマカガシ、ニホンカナヘビ、シマヘビの 6 種であった。重要種の確認位置を図 5.5-5 に示す。

表 5.5-6 両生類・爬虫類調査結果

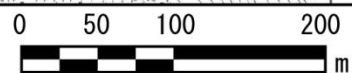
	目名	科名	種名	重要種	春季	夏季	秋季	選定根拠			
								①	②	③	④
1	無尾目	アマガエル科	ニホンアマガエル		○		○				
2		アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	●	○						D
3	有鱗目	トカゲ科	ニホントカゲ	●	○	○					B
4		カナヘビ科	ニホンカナヘビ	●	○	○	○				D
5		ナミヘビ科	アオダイショウ	●			○				D
6			ヤマカガシ	●			○				D
7			シマヘビ	●		○					C
	2 目	5 科	7 種	6 種	4 種	3 種	4 種	0 種	0 種	0 種	6 種

注：分類及び科名、種名等の配列は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成 28 年度リスト）に準拠した。



凡例

1 : 5,000



計画地



確認位置



新火葬場



鳴き声



駐車場等



既存緑地等



造成緑地



緑地遊歩道

図 5.5-5 重要種確認位置（両生類・爬虫類）

ウ. 昆虫類調査

調査の結果、表 5.5-7 に示すとおり、17 目 155 科 400 種の昆虫類が確認された。

確認種のうち重要種に該当する昆虫類は、ツノトンボ、ヤマトシリアゲ、ジャノメチョウ、エサキオサムシ、ゲンジボタルの 5 種であった。

ツノトンボ、ヤマトシリアゲは各々 1 か所、ジャノメチョウは 2 か所、エサキオサムシは 3 か所で確認された。ゲンジボタルは、平成 29 年 6 月 13 日午後 7 時 30 分頃、計画地西側の河川の上空を飛翔する成虫を 6 個体以上確認した。

重要種の確認位置を図 5.5-6 に示す。

表 5.5-7(1) 昆虫類調査結果

	目名	科名	種名	重要種	春季	夏季	秋季	選定根拠			
								①	②	③	④
1	クモ目	ウズグモ科	マネキグモ		○						
2		ヒメグモ科	アシブトヒメグモ		○						
3			オナガグモ				○				
4			ニホンヒメグモ			○					
5			キベリミジグモ		○						
6			ヤリグモ		○						
7		サラグモ科	サイトウスカグモ			○					
8			テナガグモ		○						
9			ハラジロムナキグモ		○						
10			クロナンキグモ			○					
11			タテヤマテナガグモ				○				
12			サラグモ科		○						
13		アシナガグモ科	チュウガタシロカネグモ		○						
14			オオシロカネグモ		○	○					
15			コシロカネグモ			○					
16			キララシロカネグモ			○					
17			ジョロウグモ				○				
18			ヤサガタアシナガグモ			○					
19			アシナガグモ		○						
20			<i>Tetragnatha</i> 属				○				
21		コガネグモ科	スサオニグモ		○						
22			マメオニグモ		○						
23			<i>Araneus</i> 属		○						
24			ナガコガネグモ			○					
25			ギンメッキゴミグモ			○					
26			オオトリノフンダマシ				○				
27			シロオビトリノフンダマシ			○					
28			ワキグロサツマノミダマシ			○					
29			コゲチャオニグモ			○					
30		コモリグモ科	ハラクロコモリグモ		○						
31			<i>Pardosa</i> 属			○	○				
32		キシダグモ科	イオウイロハシリグモ		○		○				
33		ササグモ科	ササグモ		○						
34			<i>Oxyopes</i> 属				○				
35		シボグモ科	シボグモ		○						
36		ガケジグモ科	クロヤチグモ				○				
37		フクログモ科	<i>Chiracanthium</i> 属		○						
38		エビグモ科	アサヒエビグモ		○		○				
39			シャコグモ		○						
40		カニグモ科	コハナグモ		○	○	○				
41			ハナグモ			○					
42			アシナガカニグモ		○						
43			ガザミグモ				○				
44			アズチグモ		○	○					
45			セマルトラフカニグモ			○					
46			ヤミイロカニグモ		○						
47			ゾウシキカニグモ			○					
48		ハエトリグモ科	ネコハエトリ			○					
49			マミジロハエトリ		○		○				
50			<i>Myrmarachne</i> 属				○				
51			マガネアサヒハエトリ			○					
52			デーニッツハエトリ				○				
53			アオオビハエトリ				○				
54	イシノミ目	イシノミ科	<i>Pedetontus</i> 属			○					
55	トンボ目	カワトンボ科	イシノミ科				○				
56			ハグロトンボ				○				
57		トンボ科	ニホンカワトンボ		○						
58			シオカラトンボ		○						
59			オオシオカラトンボ			○					
60			ナツアカネ				○				
61			ノシメトンボ			○	○				
62	ゴキブリ目	チャバネゴキブリ科	モリチャバネゴキブリ		○	○	○				
63	カマキリ目	カマキリ科	コカマキリ				○				
64			オオカマキリ				○				
65			<i>Tenodera</i> 属		○	○					
66	カワゲラ目	オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ科		○						
67	バッタ目	コロギス科	ハネナシコロギス		○						
68		ツユムシ科	セスジツユムシ				○				
69			ツユムシ		○						
70			ツユムシ科			○					
71		キリギリス科	<i>Conocephalus</i> 属				○				
72			クビキリギリス		○		○				
73			キリギリス科		○						
74		マツムシ科	アオマツムシ				○				

表 5.5-7(2) 昆虫類調査結果

	目名	科名	種名	重要種	春季	夏季	秋季	選定根拠			
								①	②	③	④
75	バッタ目	コオロギ科	ミツカドコオロギ				○				
76			モリオカメコオロギ				○				
77			エンマコオロギ			○	○				
78		カネタタキ科	カネタタキ			○	○				
79											
80		ヒバリモドキ科	ウスグモスズ				○				
81			シバスズ				○				
82			クサヒバリ				○				
83		バッタ科	ショウリョウバッタ			○					
84			クルマバッタ				○				
85			ヒナバッタ				○				
86			ショウリョウバッタモドキ				○				
87			トノサマバッタ			○	○				
88			バッタ科			○					
89			イナゴ科				○				
90			コバネイナゴ				○				
91			タンザワフキバッタ			○					
92			ツチイナゴ		○						
93		オンブバッタ科	オンブバッタ			○	○				
94			ヒシバッタ科		○						
95			コバネヒシバッタ								
96			ハラヒシバッタ			○					
97						○					
98						○					
99	ナナフシ目	ナナフシ科	ナナフシ科			○	○				
100	チャタテムシ目	ケチャタテ科	ケチャタテ科				○				
101		ホソチャタテ科	ホソチャタテ		○						
102		チャタテ科	ホソチャタテ科			○					
103			スジチャタテ				○				
104	アザミウマ目	クダアザミウマ科	クダアザミウマ科			○					
105	カメムシ目	ハネナガウンカ科	アカメガシワハネビロウンカ				○				
106											
107		テングスケバ科	テングスケバ				○				
108			ツマグロスケバ				○				
109		アオバハゴロモ科	アオバハゴロモ			○	○				
110											
111		ハゴロモ科	ベッコウハゴロモ			○	○				
112											
113		セミ科	アブラゼミ			○					
114			ニイニイゼミ			○					
115			ヒグラシ			○					
116		アワフキムシ科	シロオビアワフキ				○				
117											
118		コガシラアワフキムシ科	コガシラアワフキ			○					
119											
120		ヨコバイ科	ツマグロオオヨコバイ				○				
121			ベニヒメヨコバイ			○					
122			ブチミヤクヨコバイ				○				
123			ヒメヒシモンモドキ				○				
124			ヒメヨコバイ亜科				○				
125		キジラミ科	セグロヒメキジラミ			○					
126			ベニキジラミ		○	○					
127		アブラムシ科	アブラムシ科		○	○	○				
128											
129		ワタフキカイガラムシ科	ワタフキカイガラムシ科		○						
130											
131		サシガメ科	ヨコヅナサシガメ		○						
132			アカサシガメ				○				
133			オオトビサシガメ				○				
134			シマサシガメ				○				
135		グンバイムシ科	アワダチソウグンバイ			○	○				
136											
137		カスミカメムシ科	ツマグロハギカスミカメ		○						
138			オオクロセダカカスミカメ			○					
139			ウスモンミドリカスミカメ				○				
140											
141		マキバサシガメ科	ホソマキバサシガメ			○					
142											
143		ホソヘリカメムシ科	ホソヘリカメムシ		○						
144											
145		ヘリカメムシ科	ホシハラビロヘリカメムシ			○	○				
146											
147		ヒメヘリカメムシ科	スカシヒメヘリカメムシ			○					
148			コブチヒメヘリカメムシ			○					
149		ナガカメムシ科	オオメナガカメムシ		○						
150			ヨツボシヒョウタンナガカメムシ			○					
151			ホソコバネナガカメムシ		○						
152			オオチャイロナガカメムシ			○					
153			ヒメナガカメムシ			○					
154			ヒゲナガカメムシ			○	○				
155			イチゴチビナガカメムシ			○					
156		メダカナガカメムシ科	メダカナガカメムシ			○					
157											
158		ツノカメムシ科	エサキモンキツノカメムシ				○				
159											
160		カメムシ科	ムラサキシラホシカメムシ			○	○				
161			ツヤアオカメムシ				○				
162			クサギカメムシ			○	○				
163		マルカメムシ科	マルカメムシ		○		○				
164											
165	アミメカゲロウ目	ツノトンボ科	ツノトンボ	●		○					C
166	シリアゲムシ目	シリアゲムシ科	ヤマトシリアゲ	●	○						D
167	チョウ目	ミノガ科	オオミノガ				○				
168		ハマキガ科	セウスイロハマキ		○						

表 5.5-7(3) 昆虫類調査結果

	目名	科名	種名	重要種	春季	夏季	秋季	選定根拠			
								①	②	③	④
149	チョウ目	キバガ科	<i>Autosticha</i> 属			○					
150		マダラガ科	タケノホソクロバ			○					
151			ホタルガ				○				
152		セセリチョウ科	ダイミョウセセリ			○					
153			イチモンジセセリ				○				
154			チャバネセセリ				○				
155			コチャバネセセリ		○						
156		シジミチョウ科	ムラサキツバメ			○					
157			ベニシジミ		○	○	○				
158			ヤマトシジミ本土亜種		○		○				
159		タテハチョウ科	ツマグロヒョウモン			○					
160			アカボシゴマダラ			○	○				
161			ヒカゲチョウ			○	○				
162			ジャノメチョウ	●		○					c
163			コジャノメ		○						
164			サトキマダラヒカゲ		○		○				
165			コミスジ		○						
166			ヒメウラナミジャノメ		○	○	○				
167		アゲハチョウ科	ジャコウアゲハ本土亜種		○	○					
168			クロアゲハ本土亜種			○					
169		シロチョウ科	キタキチョウ		○	○					
170			スジグロシロチョウ		○	○					
171			モンシロチョウ		○						
172		ツトガ科	シロモンノメイガ		○						
173			アカウスグロノメイガ			○					
174			クビシロノメイガ			○					
175			コガタシロモンノメイガ			○					
176			トモンノメイガ		○						
177		メイガ科	キベリトガリメイガ			○					
178		シャクガ科	フタホシシロエダシャク		○						
179			ミスジツマキリエダシャク		○						
180			シャクガ科			○					
181		ヒトリガ科	キマエホソバ			○					
182		ドクガ科	マイマイガ			○					
183			ゴマフリドクガ			○					
184		ヤガ科	ギンギシヨトウ		○						
185			ソトウスグロアツバ			○	○				
186			テンクロアツバ				○				
187			ハスオビヒメアツバ				○				
188			ハグルマトモエ			○					
189			ヒメコブヒゲアツバ		○		○				
190	ハエ目	ガガンボ科	<i>Hexatoma</i> 属		○						
191			<i>Limnophila</i> 属		○						
192			<i>Styringomyia</i> 属		○	○					
193			<i>Tipula</i> 属		○		○				
194			ヒメガガンボ亜科		○		○				
195		ヌカカ科	<i>Culicoides</i> 属				○				
196			ヌカカ科		○		○				
197		ユスリカ科	ユスリカ亜科		○						
198			エリユスリカ亜科		○						
199		カ科	<i>Aedes</i> 属			○					
200			<i>Culex</i> 属			○					
201			キンバラナガハシカ			○					
202		チョウバエ科	チョウバエ科				○				
203		タマバエ科	タマバエ科			○	○				
204		ツノキノコバエ科	ツノキノコバエ科				○				
205		キノコバエ科	キノコバエ科		○	○	○				
206		クロキノコバエ科	クロキノコバエ科		○	○	○				
207		シギアブ科	シギアブ科		○						
208		ミズアブ科	<i>Beris</i> 属		○						
209			ハキナガミズアブ			○					
210		ムシヒキアブ科	アオメアブ			○					
211			ウスグロムシヒキ			○					
212			ナミマガリケムシヒキ		○						
213			シオヤアブ			○					
214		オドリバエ科	<i>Hilara</i> 属		○						
215			<i>Platypalpus</i> 属		○						
216		アシナガバエ科	ウデゲヒメホソアシナガバエ			○					
217			マダラホソアシナガバエ			○					
218			<i>Dolichopus</i> 属				○				
219			アシナガバエ科		○						
220		ノミバエ科	ノミバエ科				○				
221		アタマアブ科	アタマアブ科			○					
222		ハナアブ科	ホソヒラタアブ		○						

表 5.5-7(4) 昆虫類調査結果

	目名	科名	種名	重要種	春季	夏季	秋季	選定根拠			
								①	②	③	④
223	ハエ目	ハナアブ科	シマハナアブ				○				
224			ナミホシヒラタアブ		○						
225			<i>Melanostoma</i> 属			○					
226			オオハナアブ				○				
227			ホソヒメヒラタアブ		○						
228			ベッコウハナアブ		○						
229		ハモグリバエ科	ハモグリバエ科		○	○	○				
230		キモグリバエ科	<i>Meromyza</i> 属		○						
231			キモグリバエ科		○	○	○				
232		ショウジョウバエ科	<i>Drosophila</i> 属			○	○				
233			コフキヒメショウジョウバエ		○						
234		ミギワバエ科	トキワクロツヤミギワバエ		○	○					
235		ツヤホソバエ科	ヒトテンツヤホソバエ			○					
236		シマバエ科	<i>Homoneura</i> 属				○				
237			<i>Luzomyza</i> 属		○						
238			ヤブクロシマバエ			○	○				
239			シマバエ科		○						
240		ミバエ科	ノゲシケブカミバエ			○					
241		フンバエ科	キアシフンバエ		○						
242		ハナバエ科	ハナバエ科		○						
243		イエバエ科	イエバエ科		○	○	○				
244		ニクバエ科	フィールドニクバエ		○						
245		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科		○	○					
246	コウチュウ目	オサムシ科	エサキオサムシ	●	○	○					C
247			コヨツボシアトキリゴミムシ				○				
248			ベーツホソアトキリゴミムシ			○					
249			クビボソゴミムシ				○				
250			ニセクロゴモクムシ				○				
251			コゴモクムシ				○				
252			コルリアトキリゴミムシ			○					
253			オオヒラタゴミムシ				○				
254			ムネアカマメゴモクムシ			○					
255			クロツヤヒラタゴミムシ		○						
256			ヒメツヤゴモクムシ				○				
257		ハンミョウ科	ハンミョウ		○						
258		ガムシ科	トゲバゴマフガムシ			○					
259			セマルマクソガムシ		○						
260		シデムシ科	オオモモブトシデムシ			○					
261			クロシデムシ			○					
262			ヨツボシモンシデムシ		○						
263		ハネカクシ科	ムネヒロハネカクシ		○						
264		センチコガネ科	センチコガネ		○	○	○				
265		コガネムシ科	アオドウガネ			○					
266			セマダラコガネ			○					
267			コアオハナムグリ		○		○				
268			クロコガネ				○				
269			ピロウドコガネ			○	○				
270			カミヤピロウドコガネ			○					
271			マルガタピロウドコガネ			○					
272			マメダルマコガネ				○				
273			カブトムシ			○					
274		タマムシ科	<i>Agrilus</i> 属		○						
275			クズノチビタマムシ			○					
276			サシゲチビタマムシ		○						
277			アカガネチビタマムシ				○				
278			ダンダラチビタマムシ				○				
279		コメツキムシ科	サビキコリ		○						
280			クロツヤクシコメツキ		○						
281			クシコメツキ		○	○					
282			ルイスクシコメツキ			○					
283			<i>Melanotus</i> 属		○						
284			アカヒゲヒラタコメツキ		○						
285			オオナガコメツキ			○					
286			オオツヤハダコメツキ			○					
287			オオクシヒゲコメツキ			○					
288			クロヒメミノコメツキダマシ			○					
289		ジョウカイボン科	<i>Asiopodabrus</i> 属		○						
290			ヒメジョウカイ		○						
291			ニセヒメジョウカイ		○						
292			クロツマキジョウカイ		○						
293			ヒガシマルムネジョウカイ		○						
294		ホタル科	ゲンジボタル	●		○					B
295		シバンムシ科	シバンムシ科		○						
296		ジョウカイモドキ科	ツマキアオジョウカイモドキ		○						

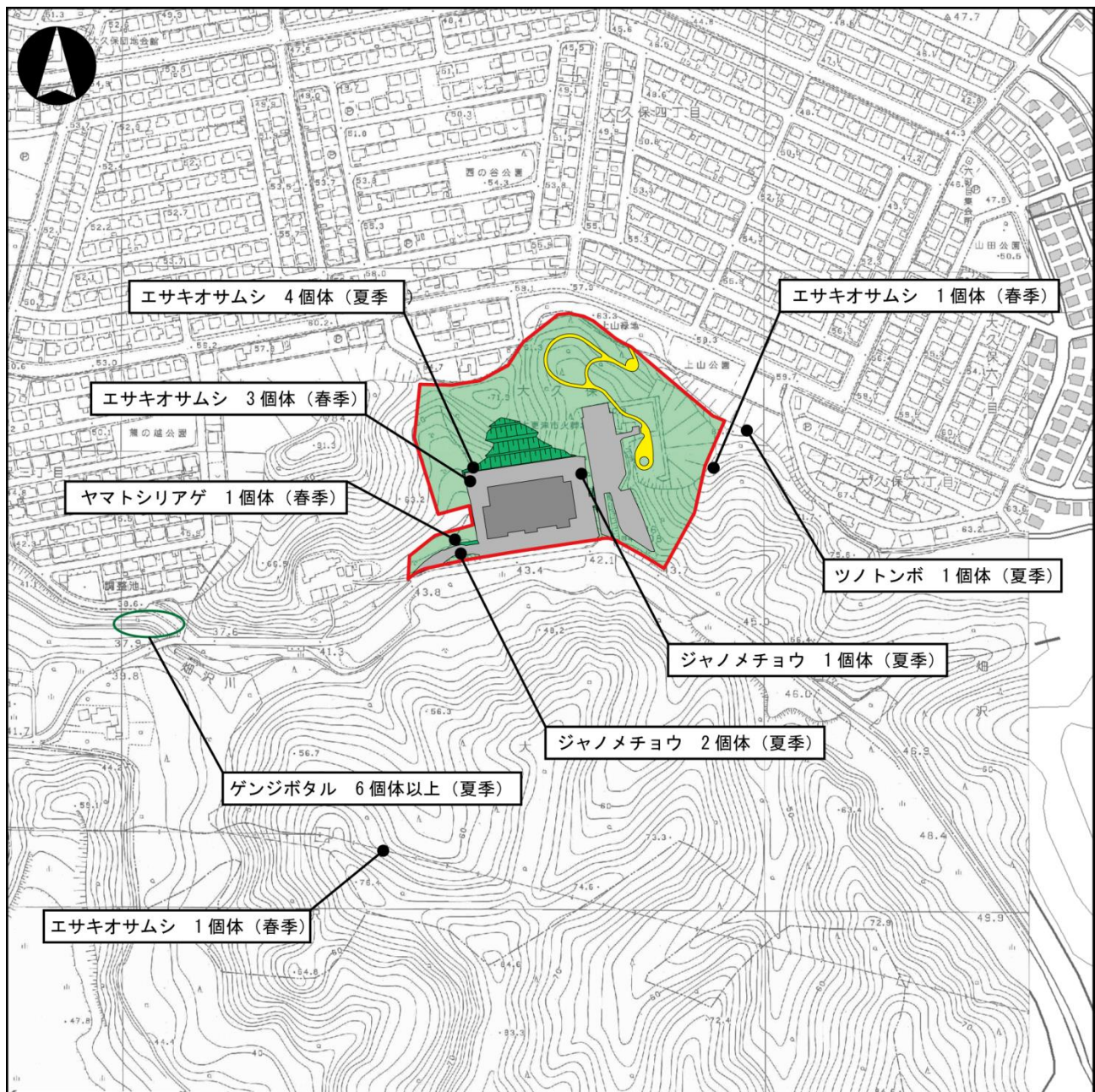
表 5.5-7(5) 昆虫類調査結果

	目名	科名	種名	重要種	春季	夏季	秋季	選定根拠			
								①	②	③	④
297	コウチュウ目	テントウムシ科	ムーアシロホシテントウ			○	○				
298			ナナホシテントウ		○		○				
299			ナミテントウ			○	○				
300			ヒメカメノコテントウ		○	○					
301		テントウムシダマシ科	ヨツボシテントウダマシ				○				
302			クロハナケシキスイ				○				
303		ケシキスイ科	<i>Epuraea</i> 属			○					
304			クロヒラタケシキスイ				○				
305		アリモドキ科	ホソクビアリモドキ			○	○				
306		ハナノミ科	クリイロヒメハナノミ			○					
307			<i>Falsomordellistena</i> 属			○					
308			<i>Mordellistena</i> 属		○						
309		カミキリモドキ科	モモブトカミキリモドキ		○						
310		ハナノミダマシ科	クロフナガタハナノミ		○						
311		ゴミムシダマシ科	ナガニゴミムシダマシ			○	○				
312			ハムシダマシ				○				
313			ベニモンキノコゴミムシダマシ				○				
314		カミキリムシ科	シナノクロフカミキリ		○						
315			ゴマフカミキリ		○						
316			ノコギリカミキリ			○					
317		ハムシ科	<i>Altica</i> 属			○					
318			サメハダツブノミハムシ		○		○				
319			ウリハムシ		○						
320			クロウリハムシ		○		○				
321			ヒサゴトビハムシ			○	○				
322			マダラカサハラハムシ		○		○				
323			クロオビカサハラハムシ				○				
324			キベリクビボソハムシ			○					
325			キイロクビナガハムシ			○					
326			ルリマルノミハムシ			○					
327			ドウガネツヤハムシ		○						
328			マルキバネサルハムシ		○						
329			サンゴジュハムシ				○				
330			ドウガネサルハムシ				○				
331			アケビタノミハムシ			○					
332		ホソクチゾウムシ科	マメホソクチゾウムシ			○					
333		オトシブミ科	ヒメコブオトシブミ			○					
334		ゾウムシ科	クロクチカクシゾウムシ		○						
335			タバゲササラゾウムシ				○				
336			コフキゾウムシ		○						
337			コカシワクチブトゾウムシ		○						
338			カシワクチブトゾウムシ				○				
339			ウンモンナガクチカクシゾウムシ			○					
340	ハチ目	ミフシハバチ科	ルリチュウレンジ		○		○				
341		ハバチ科	セグロカブラハバチ		○						
342			<i>Hemiteles</i> 属		○						
343		コマユバチ科	<i>Apanteles</i> 属		○						
344			コマユバチ亜科			○					
345			ハエヤドリコマユバチ亜科		○	○					
346			サムライコマユバチ亜科			○	○				
347			コマユバチ科		○	○	○				
348		ヒメバチ科	<i>Enicospilus</i> 属				○				
349			オオホシオナガバチ		○						
350			<i>Ophion</i> 属		○						
351			ヒメバチ科		○		○				
352		ハエヤドリクロバチ科	ハエヤドリクロバチ科		○	○	○				
353		タマゴクロバチ科	タマゴクロバチ科		○		○				
354		ハラビロクロバチ科	ハラビロクロバチ科		○						
355		アシブトコバチ科	<i>Antrocephalus</i> 属				○				
356			キアシブトコバチ				○				
357		オナガコバチ科	オナガコバチ科		○						
358		アリヤドリコバチ科	コガネコバチ科		○						
359		マルハラコバチ科	マルハラコバチ科				○				
360		ノミコバチ科	<i>Elasmus</i> 属				○				
361		アリガタバチ科	ムカシアリガタバチ		○						
362		セイボウ科	ナミナナフシバチ				○				
363		アリ科	ナカスジハリアリ			○	○				
364			クロオオアリ			○	○				
365			ミカドオオアリ		○						
366			ウメマツオオアリ		○	○	○				
367			ヤマヨツボシオオアリ		○						
368			ハリブトシリアゲアリ				○				
369			キイロシリアゲアリ			○	○				
370			シベリアカタアリ		○	○					

表 5.5-7(6) 昆虫類調査結果

	目名	科名	種名	重要種	春季	夏季	秋季	選定根拠			
								①	②	③	④
371	ハチ目	アリ科	ヒガシクロヤマアリ		○						
372			クロヤマアリ種群				○				
373			トビイロケアリ		○	○	○				
374			<i>Lasius</i> 属		○						
375			ヒメアリ		○		○				
376			アメイロアリ		○	○	○				
377			アズマオオズアリ				○				
378			チクシトダアリ			○	○				
379			アミメアリ			○	○				
380			ヒラフシアリ				○				
381			ムネボソアリ		○	○	○				
382			トビイロシワアリ			○					
383			ヤマアリ亜科		○						
384		ドロバチ科	ミカドトックリバチ				○				
385			スズバチ				○				
386		スズメバチ科	キボシアシナガバチ				○				
387			コガタスズメバチ				○				
388			ヒメスズメバチ			○					
389			クロスズメバチ			○	○				
390		クモバチ科	バッコウクモバチ			○					
391		コツチバチ科	スジコツチバチ				○				
392		ツチバチ科	ヒメハラナガツチバチ本土亜種			○					
393			キンケハラナガツチバチ		○		○				
394		アナバチ科	コクロアナバチ				○				
395		ミツバチ科	ニッポンヒゲナガハナバチ		○						
396			シロスジヒゲナガハナバチ		○						
397			ウシツノキマダラハナバチ		○						
398			ギンランキマダラハナバチ		○						
399			ダイミョウキマダラハナバチ		○						
400		コハナバチ科	<i>Lasiglossum</i> 属				○				
	17目	155科	400種	5種	167種	170種	166種	0種	0種	0種	5種

- 注1) 分類群の配列や分類群名は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（平成28年度版）」に準じた。
- 注2) 上記リストが対象としない分類群については主に「日本昆虫総目録」を参考にして適当な位置に挿入した。
- 注3) 科内の配列は学名のアルファベット順としたが、亜科は科の最後にまとめた。
- 注4) 上記リストに学名のみで掲載されているものでも出版物で和名が付されているものはその和名を用いた。
- 注5) 種まで同定ができなかったものと同じ科や属の種が出現している場合でもそれぞれを1種として計数した。
- 注6) 科止めや属止めのものには複数種が含まれている場合もあるが、それらも便宜上1種として計数した。



凡例

1 : 5,000

0 50 100 200
m



計画地



確認位置



新火葬場



ゲンジボタル確認位置



駐車場等



既存緑地等



造成緑地



緑地遊歩道

図 5.5-6 重要種確認位置 (両生類・爬虫類)

エ. 鳥類調査

調査の結果、表 5.5-8 に示すとおり、10 目 22 科 35 種の鳥類が確認された。

確認種のうち重要種に該当する鳥類は、ホトトギス、アマツバメ、トビ、ツミ、ハイタカ、オオタカ、サシバ、ノスリ、カワセミ、カケス、ツバメ、ヤブサメ、キビタキ、ホオジロの 14 種であった。

また、春季に繁殖活動が示唆されたツミについて、その繁殖巣を確認するため、秋季に樹林部の踏査を行ったが、巣等の確認には至らなかった。

表 5.5-8 鳥類確認種一覧

	目名	科名	種名	重要種	一般鳥類調査				猛禽類調査	選定根拠			
					冬季	春季	繁殖期	秋季		①	②	③	④
1	キジ目	キジ科	コジュケイ						○				
2	カモ目	カモ科	カルガモ			○			○				
3	ハト目	ハト科	キジバト		○	○	○	○	○				
4	ペリカン目	サギ科	ゴイサギ				○						
5			アオサギ				○						
6	カウコウ目	カウコウ科	ホトトギス	●					○				C
7	アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ	●				○					A
8	タカ目	タカ科	トビ	●					○				D
9			ツミ	●		○			○				C
10			ハイタカ	●					○			NT	B
11			オオタカ	●					○		国内	NT	B
12			サシバ	●					○			VU	A
13			ノスリ	●					○				C
14	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ	●			○						C
15	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ		○	○	○	○	○				
16	スズメ目	モズ科	モズ					○	○				
17		カラス科	カケス	●		○		○	○				C
18			ハシブトガラス		○	○	○	○	○				
19		シジュウカラ科	ヤマガラ		○	○		○	○				
20			シジュウカラ		○		○	○	○				
21		ツバメ科	ツバメ	●		○	○		○				D
22		ヒヨドリ科	ヒヨドリ		○	○	○	○	○				
23		ウグイス科	ウグイス			○	○	○	○				
24			ヤブサメ	●		○	○		○				C
25		エナガ科	エナガ					○	○				
26		メジロ科	メジロ		○	○	○	○	○				
27		ヒタキ科	アカハラ						○				
28			ツグミ		○				○				
29			キビタキ	●		○	○		○				A
30		スズメ科	スズメ			○	○	○	○				
31		セキレイ科	ハクセキレイ		○				○				
32		アトリ科	カワラヒワ						○				
33			シメ		○				○				
34		ホオジロ科	ホオジロ	●		○			○				C
35			アオジ		○				○				
	10目	22科	35種	14種	11種	15種	14種	13種	31種	0種	1種	3種	14種

注：分類及び科名、種名等の配列は、基本的に「日本鳥類目録 改訂第7版」（平成24年9月 日本鳥学会）に準拠した。

(7) 一般鳥類

ラインセンサス法及びポイントセンサス法で確認された鳥類は、表 5.5-9 に示すとおりである。重要種の確認位置を図 5.5-7 に示す。

表 5.5-9(1) 一般鳥類調査結果（冬季）

	目名	科名	種名	ラインセンサス法		ポイント センサス法	合計
				L1	L2	定点 1	
1	ハト目	ハト科	キジバト	2	1	1	4
2	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ		1		1
3	スズメ目	カラス科	ハシブトガラス		5	3	8
4		シジュウカラ科	ヤマガラ	1			1
5			シジュウカラ	1			1
6		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	2	4	1	7
7		メジロ科	メジロ	2		2	4
8		ヒタキ科	ツグミ		1		1
9		セキレイ科	ハクセキレイ	11	2		13
10		アトリ科	シメ	15		10	25
11		ホオジロ科	アオジ	1	1	1	3
	3 目	10 科 11 種	種数	8 種	7 種	6 種	11 種
			個体数	35 個体	15 個体	18 個体	68 個体

※猛禽類調査時に確認された種を除く

表 5.5-9(2) 一般鳥類調査結果（春季）

	目名	科名	種名	ラインセンサス法		ポイント センサス法	合計
				L1	L2	定点 1	
1	カモ目	カモ科	カルガモ			2	2
2	ハト目	ハト科	キジバト	2	2		4
3	タカ目	タカ科	ツミ		※1		-
4	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	2			2
5	スズメ目	カラス科	カケス	1			1
6			ハシブトガラス		2	3	5
7		シジュウカラ科	ヤマガラ	1			1
8		ツバメ科	ツバメ		1	2	3
9		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	4	8	1	13
10		ウグイス科	ウグイス	3	2	1	6
11			ヤブサメ			1	1
12		メジロ科	メジロ	2	1	1	4
13		ヒタキ科	キビタキ	2		1	3
14		スズメ科	スズメ		2		2
15		ホオジロ科	ホオジロ		1		1
	5 目	13 科 15 種	種数	8 種	9 種	8 種	15 種
			個体数	17 個体	19 個体	12 個体	48 個体

※猛禽類調査時に確認された種を除く

※1 鳴き声による確認。

表 5.5-9(3) 一般鳥類調査結果(繁殖期)

	目名	科名	種名	ラインセンサス法		ポイント センサス法	合計
				L1	L2	定点 1	
1	ハト目	ハト科	キジバト	3	2		5
2	ペリカン目	サギ科	ゴイサギ			1	1
3			アオサギ			1	1
4	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ	1			1
5	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	1			1
6	スズメ目	カラス科	ハシブトガラス	3		1	4
7		シジュウカラ科	シジュウカラ	3	3	1	7
8		ツバメ科	ツバメ		1		1
9		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	3	4	3	10
10		ウグイス科	ウグイス	5	3	1	9
11			ヤブサメ	1			1
12		メジロ科	メジロ	2	8	2	12
13		ヒタキ科	キビタキ	1			1
14		スズメ科	スズメ	3	11	3	17
	5 目	12 科 14 種	種数	11 種	7 種	8 種	14 種
			個体数	26 個体	32 個体	13 個体	71 個体

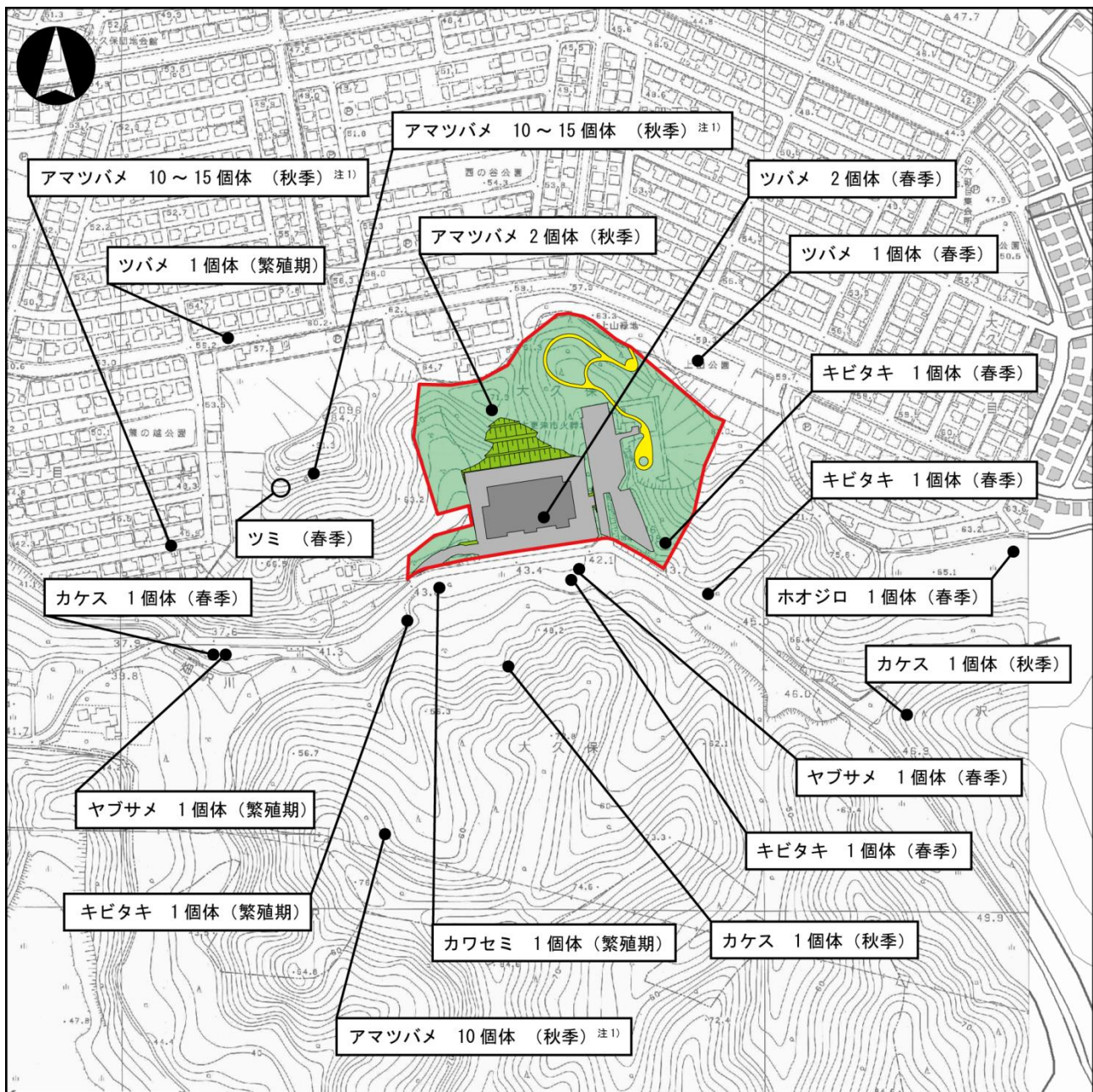
※猛禽類調査時に確認された種を除く

表 5.5-9(4) 一般鳥類調査結果(秋季)

	目名	科名	種名	ラインセンサス法		ポイント センサス法	合計
				L1	L2	定点 1	
1	ハト目	ハト科	キジバト	1	2	1	4
2	アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ			2	2
3	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	1			1
4	スズメ目	モズ科	モズ			1	1
5		カラス科	カケス	1		1	2
6			ハシブトガラス	4	1	1	6
7		シジュウカラ科	ヤマガラ		1	1	2
8			シジュウカラ		2	2	4
9		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	3	4	1	8
10		ウグイス科	ウグイス	8	1		9
11		エナガ科	エナガ	3	8		11
12		メジロ科	メジロ	4	7	6	17
13		スズメ科	スズメ		4		4
	4 目	11 科 13 種	種数	8 種	9 種	9 種	13 種
			個体数	25 個体	30 個体	16 個体	71 個体

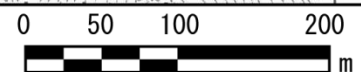
※猛禽類調査時に確認された種を除く

※アマツバメはポイントセンサス法で確認された以外に、猛禽類調査時においても「10 個体」、「10～15 個体」、「10～15 個体」が確認されている。アマツバメは重要種に該当するため、猛禽類調査時に確認された位置を図 5.5-7 に示した。



凡例

1 : 5,000



計画地



確認位置



新火葬場



鳴き声



駐車場等



既存緑地等



造成緑地



緑地遊歩道

注 1) 猛禽類調査時に確認されたことを示す。

図 5.5-7 重要種確認位置 (鳥類)

(イ) 猛禽類

各種の確認状況は、表 5.5-10 及び図 5.5-8 に示すとおりである。

冬季の猛禽類調査では、トビ、ハイタカ、ノスリが確認された。

春季の猛禽類調査では、トビ、ツミ、オオタカ、サシバが確認された。また、一般鳥類調査時にツミの鳴き声が確認された。

繁殖期の猛禽類調査では、トビが確認された。

秋季の猛禽類調査では、トビ、オオタカ、サシバ、ノスリが確認された。

表 5.5-10(1) 猛禽類の確認状況（トビ）

No.	調査地点	調査年月日	観察時刻	雌雄	成幼	欠損	指標行動	確認状況
1	定点2	2017/2/16	12:08 ～ 12:11	不明	成	なし	-	西方向より旋回飛翔しながら東へ移動する。手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度60～100m）
2	定点2	2017/4/30	12:31 ～ 12:32	不明	成	不明	-	地点の南西上空を羽ばたき飛翔。南東方向へ向かう。最後は手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度60～80m）
3	定点1	2017/5/1	9:50 ～ 9:52	不明	不明	不明	-	西方高空を飛翔。ゆっくりした滑翔で南東から南へ。手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度60～70m）
4	定点1	2017/6/27	12:57 ～ 12:58	不明	不明	不明	-	西方高空を飛翔する。旋回しながら北方へ。手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度90m）
5	定点1	2017/9/19	11:13 ～ 11:15	不明	不明	不明	-	北西高空を飛翔する。旋回のち滑翔をして北西方向へ。（飛翔高度70～100m）
6	定点2	2017/9/19	11:31 ～ 11:34	不明	不明	なし	-	住宅地上で旋回上昇。北東へ旋回移動する。さらに北東へ滑翔する。図面外に進んだ為、観察を中止。（飛翔高度50～200m）
7	定点2	2017/9/19	14:01 ～ 14:04	不明	不明	不明	-	北西の住宅地上で旋回。旋回移動して南東に移動する。背後の樹林にさえぎられて見えなくなる。（飛翔高度50～50m）

表 5.5-10(2) 猛禽類の確認状況（ツミ）

No.	調査地点	調査年月日	観察時刻	雌雄	成幼	欠損	指標行動	確認状況
1	定点1	2017/5/1	9:00 ～ 9:04	雌?	不明	不明	-	西方高空を飛翔。東へ高速で滑翔。手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度30～40m）
2	定点2	2017/5/1	9:09 ～ 9:14	雄	成	なし	ディスプレイ攻撃	地点の南の樹林上空に出現。旋回、移動、途中でディスプレイ（No.3の飛翔と交わる）。その後北西へ移動。北川の住宅地上空を東へ移動し滑翔。手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度30～60m）
3	定点1	2017/5/1	9:09 ～ 9:11	雌	成	なし	被攻撃	定点の上空をNo.2と飛翔する。旋回をしながらゆっくりと東方へ。一度No.2から攻撃される。（飛翔高度30m）
4	定点1	2017/5/1	10:02 ～ 10:11	雄	成	なし	-	南西方向を飛翔する。羽ばたき、旋回、滑翔をまじえ調査地の広範囲を飛翔する。手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度30～60m）
5	定点1	2017/5/1	10:02 ～ 10:10	雄	不明	不明	-	西方高空を飛翔。羽ばたき、旋回、滑翔をまじえ調査地の西側を飛翔する。No.4を観察するため観察中止。（飛翔高度40～60m）

No.	調査地点	調査年月日	観察時刻	雌雄	成幼	欠損	指標行動	確認状況
6	定点1	2017/5/1	10:05 ～ 10:07	雄	不明	不明	-	西方高空を飛翔する。羽ばたき、旋回、滑翔をまじえ南方へ。No. 4、No. 5を観察するため観察中止。（飛翔高度60m）
7	定点2	2017/5/1	10:14 ～ 10:17	不明	不明	不明	-	地点東側の樹林上空を飛翔。南から西方向へ。手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度30～100m）
8	定点2	2017/5/1	11:14 ～ 11:16	不明	成	なし	-	地点南東の樹林上空を飛翔する。旋回上昇しながら北東へ。その後南東方向へ移動し、手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度20～50m）
9	定点2	2017/5/1	11:28 ～ 11:29	不明	成	不明	-	南西上空を旋回飛翔する。西方へ移動し手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度20～60m）
10	定点1	2017/5/1	11:51 ～ 11:52	雄	成	なし	-	南西高空を飛翔する。旋回、滑翔、急降下をまじえて西方へ。手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度20～50m）
11	定点2	2017/5/1	11:56 ～ 12:00	不明	成	不明	-	地点西の上空を飛翔する。旋回上昇し北へ移動。住宅地の上空を旋回飛翔しながら西へ。手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度60～80m）
12	-	2017/5/2	6:25	不明	不明	不明	鳴き	一般鳥類調査時に鳴き声が聞こえた。営巣の可能性がある。

表 5.5-10(3) 猛禽類の確認状況（ハイタカ）

No.	調査地点	調査年月日	観察時刻	雌雄	成幼	欠損	指標行動	確認状況
1	定点1	2017/2/16	10:50 ～ 10:51	雌	成?	なし	-	東の樹林内から飛び出す。旋回、旋回上昇、滑翔をまじえ南方へ。手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度40～100m）

表 5.5-10(4) 猛禽類の確認状況（オオタカ）

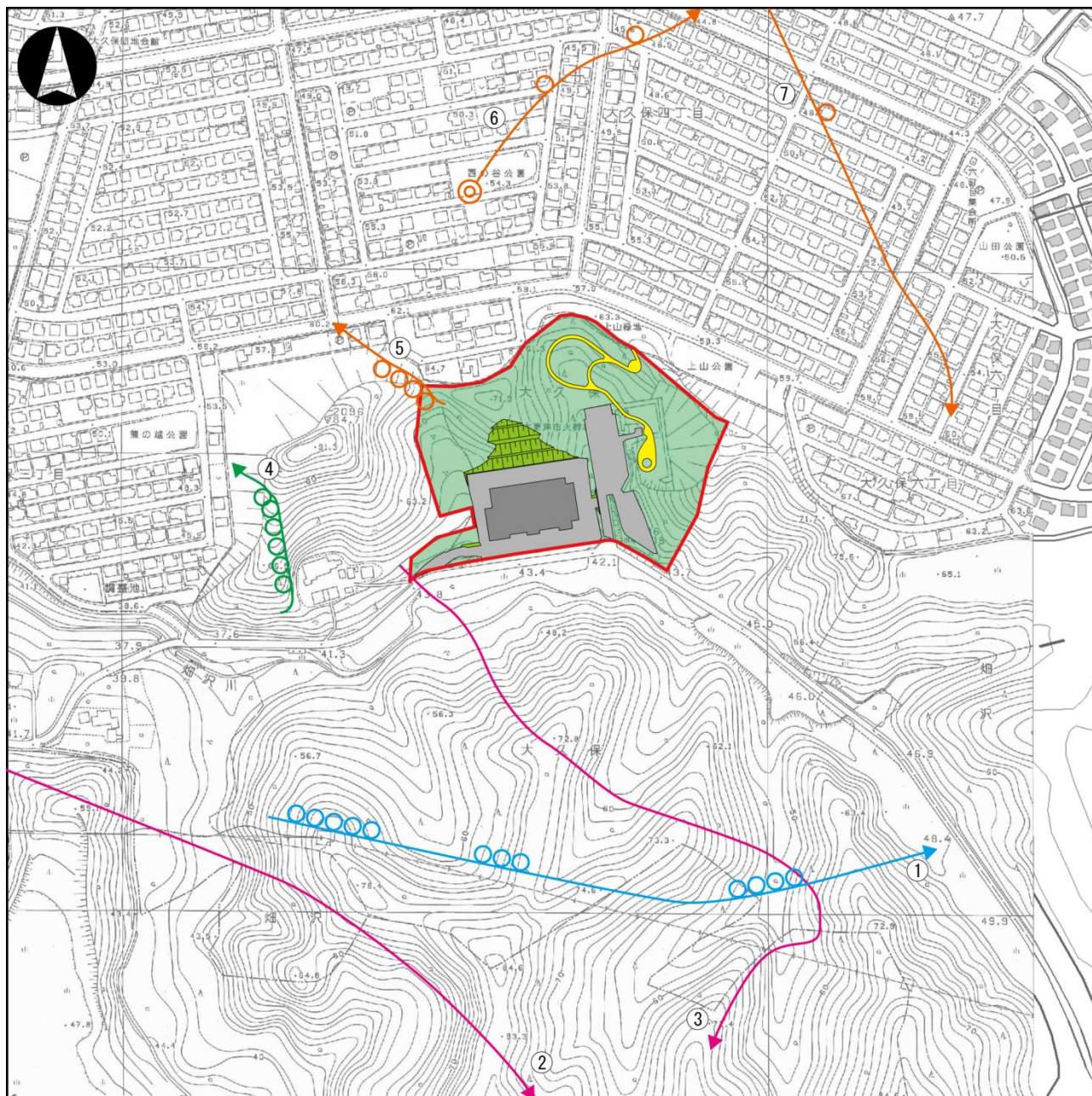
No.	調査地点	調査年月日	観察時刻	雌雄	成幼	欠損	指標行動	確認状況
1	定点1	2017/5/1	11:25 ～ 11:31	雌	成	不明	探餌 ハンティング	南西方向の鉄塔上部に南向きにとまる。下方を見て探餌をする。鉄塔足元付近に急降下をする。おそらくハンティングしたと思われる。手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度20～60m）
2	定点1	2017/9/19	9:40 ～ 9:40	雄?	成	不明	とまり	南西空中を北西へ飛翔する。鉄塔上部に南向きにとまりをしたが、10羽前後のハシブトガラスが接近した為、すぐに西へ飛び立つ。降下気味に滑翔する。（飛翔高度60～70m）
3	定点1	2017/9/19	10:16 ～ 10:19	雌?	成	左初列 風切欠損有り	-	山地上を飛翔する。西方へ滑翔のち旋回上昇。旋回上昇のち滑翔して北西へ。（飛翔高度80～200m）

表 5.5-10(5) 猛禽類の確認状況（サシバ）

No.	調査地点	調査年月日	観察時刻	雌雄	成幼	欠損	指標行動	確認状況
1	定点1	2017/4/30	10:47 ～ 10:51	雄	成	不明	-	北高空を飛翔する。ゆっくりした滑翔、旋回を交え南西方向へ。高度を下げていき、手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度20～80m）
2	定点2	2017/4/30	11:26 ～ 11:29	不明	成	なし	-	地点南西の樹林上空を飛翔する。鉄塔の南側で旋回上昇。その後北西へ滑翔し、最後は手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度20～150m）
3	定点2	2017/9/20	11:22 ～ 11:36	不明	成	不明	とまり	落広上部に南向きでとまり。11:33南西へ飛翔して常塚樹頂部に南向きでとまり。11:36南東へ低く飛翔する。（飛翔高度15～20m）

表 5.5-10(6) 猛禽類の確認状況（ノスリ）

No.	調査地点	調査年月日	観察時刻	雌雄	成幼	欠損	指標行動	確認状況
1	定点1	2017/2/15	10:13 ～ 10:14	不明	不明	不明	-	南西高空を飛翔する。北西へ飛翔したあとに滑翔をする。手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度30～80m）
2	定点1	2017/2/15	10:16 ～ 10:16	不明	不明	不明	-	北西高空を飛翔する。北西へ滑翔する。手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度60～70m）
3	定点1	2017/2/15	11:33 ～ 11:35	不明	不明	左翼初列風切り4番目欠損	-	北西中空を飛翔する。旋回、旋回上昇をまじえ北東→南→西へと飛翔する。手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度40～150m）
4	定点1	2017/2/15	14:06 ～ 14:08	不明	不明	左翼初列風切り4番目欠損	-	西方高空を飛翔する。旋回をしながらゆっくりと東へ。No.3と同一個体。手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度40～70m）
5	定点2	2017/2/16	11:45 ～ 12:00	不明	成	左翼初列風切り4番目欠損	-	地点南側丘陵地の上空を旋回飛翔。徐々に高度を上げて西方向へ飛翔。時々停空飛翔する。その後も西方向へ移動。2/15No.3と同一個体。手前の尾根に遮られて見えなくなる。（飛翔高度30～100m）
6	定点1	2017/2/16	12:36 ～ 12:38	不明	不明	なし	-	北西高空を飛翔する。滑翔、旋回、停空飛翔をまじえ南へ。手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度30～90m）
7	定点1	2017/2/16	13:32 ～ 13:33	不明	不明	不明	探餌	南西高空を飛翔する。停空飛翔で探餌をした後に南東へ滑翔する。手前の樹林に遮られて見えなくなる。（飛翔高度35～40m）
8	定点1	2017/9/19	11:46 ～ 11:55	不明	不明	不明	-	南高空を飛翔する。旋回、滑翔をまじえ西→北へ。（飛翔高度80～100m）
9	定点1	2017/9/19	11:51 ～ 11:54	不明	不明	不明	-	南西高空を飛翔する。旋回をしながら北西へ。（飛翔高度80～80m）



凡例

1 : 5,000

0 50 100 200 m



計画地



新火葬場



駐車場等



既存緑地等



造成緑地



緑地遊歩道

飛翔（確認時期の色）

→ 冬季

→ 春季

→ 繁殖期

→ 秋季

● とまり

○○○○○ 旋回飛翔

◎ 旋回上昇

>>>>> 急降下

~~~~~ ディスプレイ

▲ モビング

△ 被モビング

⊗ ハンティング

□□□□ 探餌飛翔

●●●●● 餌持ち飛翔

⊕ 探餌

||||| 巣材運び

Ⓢ 鳴き声

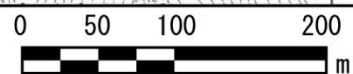
☆ 交尾

図 5.5-8(1) 猛禽類の確認状況（トビ）



## 凡例

1 : 5,000



- 計画地
- 新火葬場
- 駐車場等
- 既存緑地等
- 造成緑地
- 緑地遊歩道

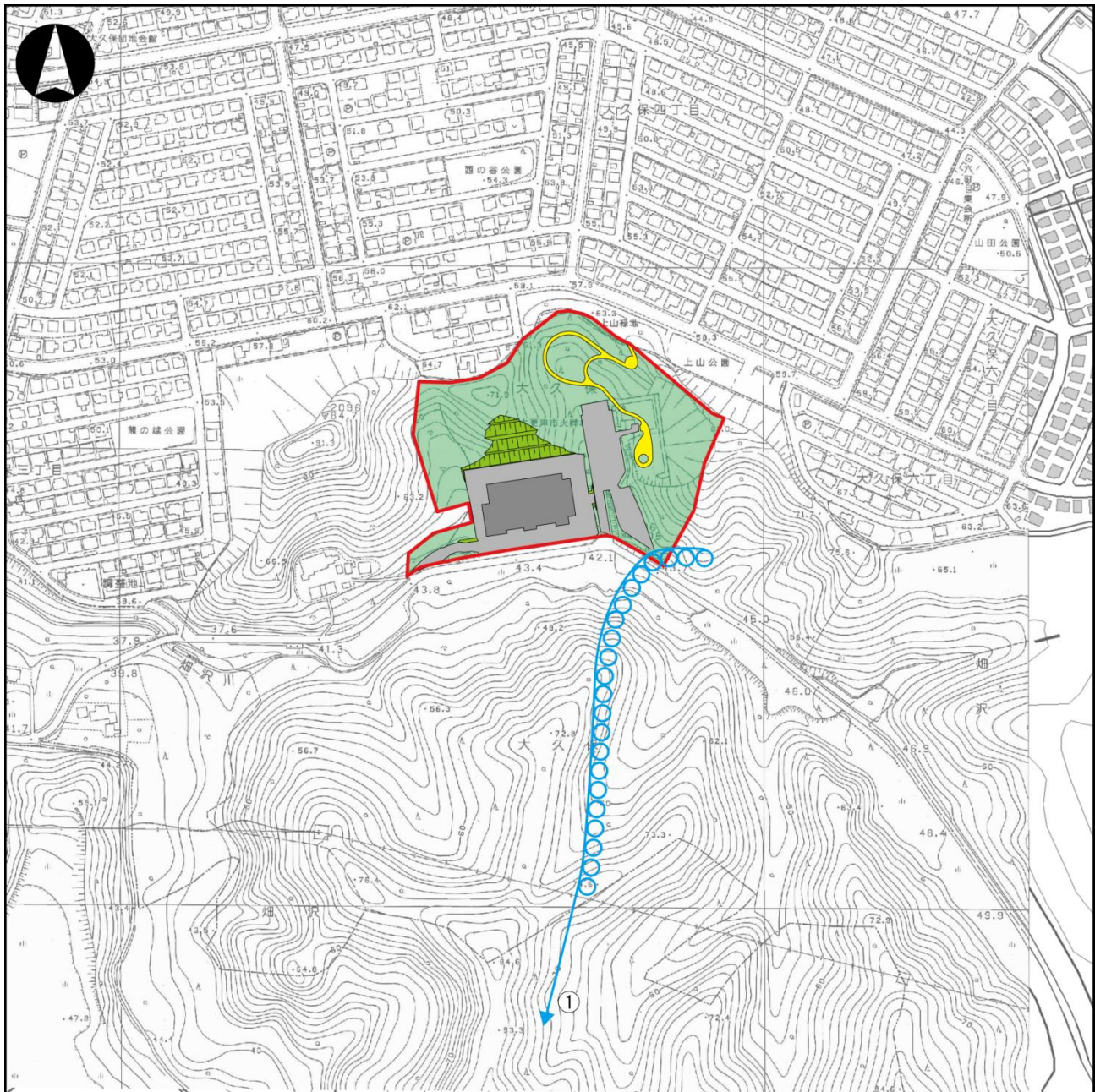
飛翔（確認時期の色）

- 冬季
- 春季
- 繁殖期
- 秋季

- とまり
- ○ ○ ○ ○ 旋回飛翔
- ◎ 旋回上昇
- ➤ ➤ ➤ ➤ ➤ 急降下
- ~~~~~ ディスプレイ

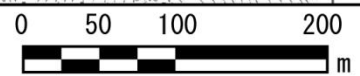
- ▲ モビング
- △ 被モビング
- ⊗ ハンティング
- □ □ □ 探餌飛翔
- ● ● ● ● 餌持ち飛翔
- ⊕ 探餌
- ||||| 巢材運び
- ⑩ 鳴き声
- ☆ 交尾

図 5.5-8(2) 猛禽類の確認状況（ツミ）



## 凡例

1 : 5,000



- 計画地
- 新火葬場
- 駐車場等
- 既存緑地等
- 造成緑地
- 緑地遊歩道

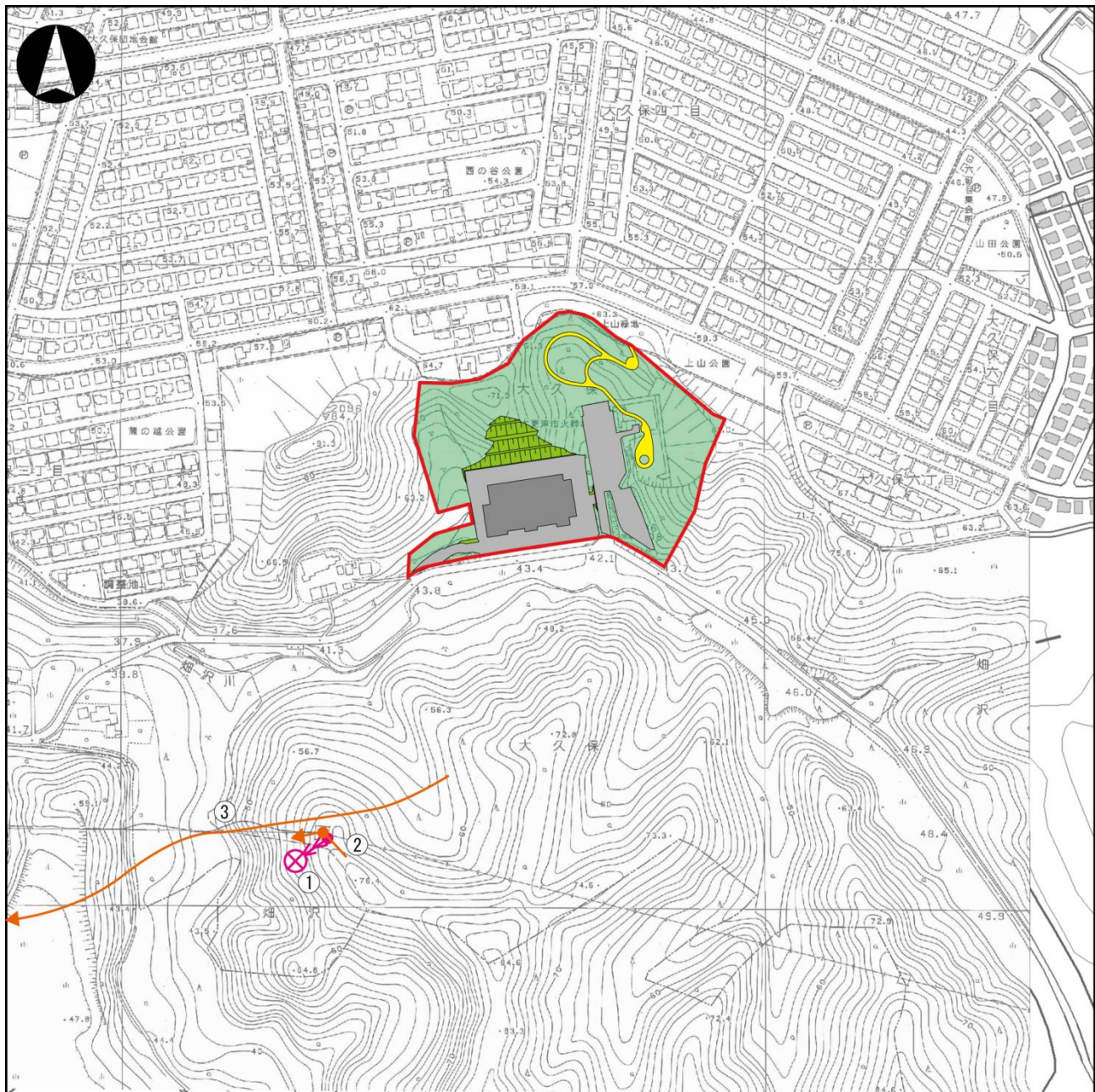
飛翔（確認時期の色）

- 冬季
- 春季
- 繁殖期
- 秋季

- とまり
- ○ ○ ○ ○ 旋回飛翔
- ◎ 旋回上昇
- >>>>>> 急降下
- ~~~~~ ディスプレイ

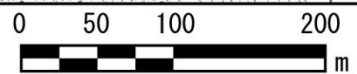
- ▲ モビング
- △ 被モビング
- ⊗ ハンティング
- □ □ □ 探餌飛翔
- ● ● ● ● 餌持ち飛翔
- ⊕ 探餌
- ||||| 巣材運び
- ⓪ 鳴き声
- ☆ 交尾

図 5.5-8(3) 猛禽類の確認状況（ハイタカ）



## 凡例

1 : 5,000



- 計画地
- 新火葬場
- 駐車場等
- 既存緑地等
- 造成緑地
- 緑地遊歩道

飛翔（確認時期の色）

- 冬季
- 春季
- 繁殖期
- 秋季

- とまり
- ○ ○ ○ ○ 旋回飛翔
- ◎ 旋回上昇
- >>>>>> 急降下
- ~~~~~ ディスプレイ

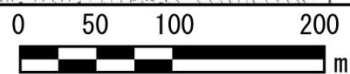
- ▲ モビング
- △ 被モビング
- ⊗ ハンティング
- □ □ □ 探餌飛翔
- ● ● ● ● 餌持ち飛翔
- ⊕ 探餌
- ||||| 巣材運び
- ⑥ 鳴き声
- ☆ 交尾

図 5.5-8(4) 猛禽類の確認状況（オオタカ）



# 凡例

1 : 5,000



- 計画地
- 新火葬場
- 駐車場等
- 既存緑地等
- 造成緑地
- 緑地遊歩道

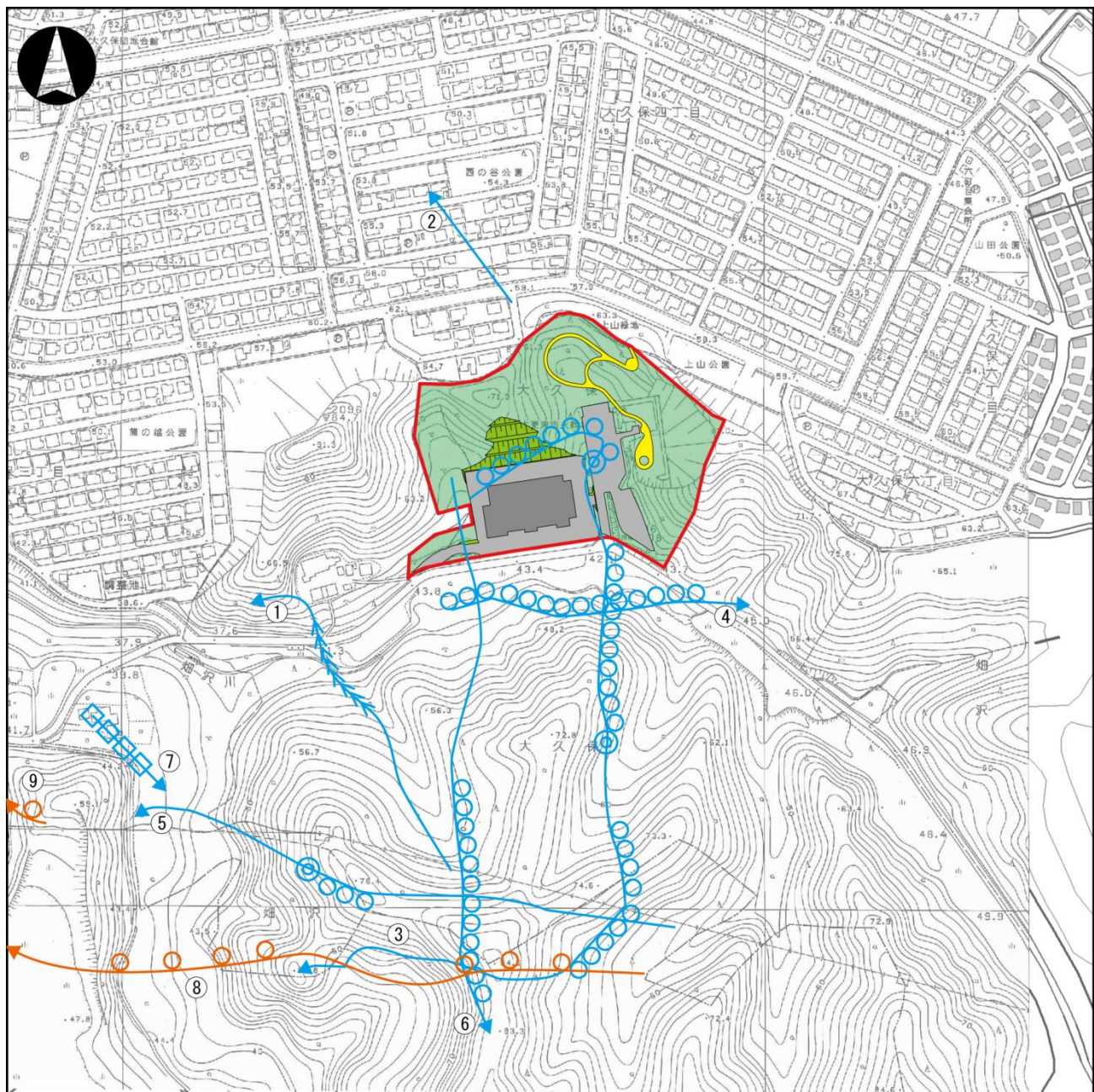
飛翔（確認時期の色）

- 冬季
- 春季
- 繁殖期
- 秋季

- とまり
- 旋回飛翔
- ◎ 旋回上昇
- 急降下
- W W W W W ディスプレイ

- ▲ モビング
- △ 被モビング
- ⊗ ハンティング
- 探餌飛翔
- 餌持ち飛翔
- ⊕ 探餌
- ||||| 巣材運び
- ⑥ 鳴き声
- ☆ 交尾

図 5.5-8 (5) 猛禽類の確認状況（サシバ）



## 凡例

1 : 5,000

0 50 100 200  
m

- 計画地
- 新火葬場
- 駐車場等
- 既存緑地等
- 造成緑地
- 緑地遊歩道

## 飛翔（確認時期の色）

- 冬季
- 春季
- 繁殖期
- 秋季
- とまり
- ○ ○ ○ ○ 旋回飛翔
- ◎ 旋回上昇
- ➤ ➤ ➤ ➤ ➤ 急降下
- ~~~~~ ディスプレイ

- ▲ モビング
- △ 被モビング
- ⊗ ハンティング
- □ □ □ 探餌飛翔
- ● ● ● ● 餌持ち飛翔
- ⊕ 探餌
- ||||| 巢材運び
- ⑥ 鳴き声
- ☆ 交尾

図 5.5-8(6) 猛禽類の確認状況（ノスリ）

## 5.5.2 予測及び評価の結果

### 1. 工事の実施、土地又は工作物の存在及び供用

#### (1) 樹林の伐採等の工事の実施及び施設の存在

##### ①予測

##### ア. 予測項目

予測項目は、計画地及び周辺地域の動物相（重要種）への影響とした。

##### イ. 予測地域・予測地点

計画地及び周辺地域とする。

##### ウ. 予測対象時期

工事期間中及び施設が完成した時期とした。

##### エ. 予測方法

環境保全措置を勘案した定性予測とした。

## オ. 予測結果

### (7) 哺乳類

哺乳類の重要種は、テンとニホンアナグマの2種である。なお、ニホンアナグマは計画地及びその周囲の大半を占める森林生態系の典型性種としたため、予測結果は生態系に記載した。

テンの予測結果は、表 5.5-11 に示すとおりである。

表 5.5-11 哺乳類予測結果（テン）

| 種名/重要種<br>カテゴリー   | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| テン<br>/千葉県：一般保護生物 | 分布    | 本州～九州。移入個体群が北海道南部に分布。県内では主に房総丘陵に生息。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                   | 形態    | メスよりオスの方が大きい。千葉県産のオスでは頭胴長 41-46cm、尾長 20-23cm、体重 1.5-1.6kg、メスでは頭胴長 40 cm、尾長 17cm、体重 0.9kg。千葉県産の本種では、夏毛は全身が黒褐色で、喉から胸が鮮やかな黄色、冬毛は全身が薄い褐色の個体が多い。                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                   | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                   |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|                   |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|                   | 確認状況  | 計画地外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                   | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種は計画地内では確認されなかったが、主要な生息環境は森林であり、計画地及びその周囲の森林を利用していると考えられる。工事の実施により、一時的に計画地及びその周囲から逃避することが予測されるが、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種は計画地内では確認されなかったが、主要な生息環境は森林であり、施設の存在により生息環境である森林の一部が改変されるが、計画地内の緑化は、周辺の植生と調和を図る計画であり、計画地内の緑地を生息場所として利用することは可能であると考えられる。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> |

# (イ)両生類・爬虫類

両生類の重要種はシュレーゲルアオガエルの1種、爬虫類の重要種はニホントカゲ、ニホンカナヘビ、アオダイショウ、ヤマカガシ、シマヘビの5種である。

両生類・爬虫類の重要種の予測結果は、表5.5-12及び表5.5-13に示すとおりである。

表5.5-12 両生類予測結果（シュレーゲルアオガエル）

| 種名/重要種<br>カテゴリー                    | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------------------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| シュレーゲル<br>アオガエル<br>/千葉県：一般<br>保護生物 | 分布    | 本州～九州。県内全域に分布する。                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                                    | 形態    | 体は緑色で、モリアオガエルとは本種の方が小型であること、虹彩が金色であること、皮膚がなめらかであることで区別される。                                                                                                                                                                                                                    |
|                                    | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                                    |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|                                    |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|                                    | 確認状況  | 計画地外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                                    | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種の確認箇所は計画地外であり、事業実施による直接的な影響はないものと考えられる。また、工事期間中においては計画地下流の水域に濁水が流入しないように濁水対策を実施する。</p> <p>以上のことから工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種の確認箇所は計画地外であり、本種の生息が確認された水域及びその周囲は改変しない。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響は回避されていると考えられる。</p> |

表5.5-13(1) 爬虫類予測結果（ニホントカゲ）

| 種名/重要種カ<br>テゴリー           | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ニホントカゲ<br>/千葉県：重要<br>保護生物 | 分布    | 北海道～九州、周辺の島々。ロシア沿海州。県内全域に分布する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                           | 形態    | 幼体は尾が鮮やかな青色であるが、成長するにつれ色あせ、成熟個体では胴体と尾が同じ茶褐色となる。胴体の中央部の胴回りの鱗の数は24-28で26が普通。                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                           | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                           |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                           |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                           | 確認状況  | 計画地内で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                           | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種が確認された駐車場付近の草地環境はそのまま維持される。また、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種が確認された草地環境はそのまま維持され、新たに造成緑地や緑地遊歩道など、本種が利用可能な生息環境が創出される。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響はほとんどないものと考えられる。なお、新たに設置される散策道脇などに空隙のある石積環境等を設ける等、より利用しやすい生息環境を創出することが望ましい。</p> |

表 5.5-13(2) 爬虫類予測結果（ニホンカナヘビ）

| 種名/重要種<br>テグリー             | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ニホンカナヘビ<br>/千葉県：一般<br>保護生物 | 分布    | 北海道～九州、周辺の島々。県内全域に分布する。日本固有種。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|                            | 形態    | 茶褐色で背面の鱗はキールが発達している。腹面は灰色から黄色み帯びた白色。側面には細い白線と太い黒褐色線が走る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                            | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                            |       | ・平地から低山地の藪や草地庭先に生息する。<br>・夜は草の上や落ち葉の下で休む。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|                            |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                            |       | 主に小型の昆虫類やクモ類を食べる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                            |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                            |       | 初夏に、2～6 個の卵を数回にわたり産卵する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                            | 確認状況  | 計画地の内外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                            | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種は計画地内外で確認されたが、計画地内で確認された駐車場付近の草地環境はそのまま維持される。また、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種が確認された計画地内外の草地環境はそのまま維持され、新たに造成緑地や緑地遊歩道など、本種が利用可能な生息環境が創出される。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響はほとんどないものと考えられる。なお、新たに設置される散策道脇などに空隙のある石積環境等を設ける等、より利用しやすい生息環境を創出することが望ましい。</p> |

表 5.5-13(3) 爬虫類予測結果（アオダイショウ）

| 種名/重要種カ<br>テグリー            | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アオダイショウ<br>/千葉県：一般<br>保護生物 | 分布    | 北海道～九州、周辺の島々。県内全域に生息する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                            | 形態    | 本土で最大のヘビ。胴体の断面はかまぼこ型で、腹の鱗の側方に側稜という強いキールがある。頭部は角張った感じがする。地色は緑がかった灰色で、シマヘビのようなストライプを薄くもつ。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                            | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                            |       | ・山地の森林から平野部の人家まで、様々な環境にすむ。<br>・地上よりも樹上性の傾向がある。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                            |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                            |       | 鳥類や哺乳類など主に内温性の脊椎動物を捕食する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                            |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                            |       | 交尾期は5月～6月、7月～8月に4～17 個の卵を産む。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                            | 確認状況  | 計画地外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                            | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種は計画地外で確認されたが、本種は森林から人家周辺までの多様な環境に生息しており、計画地内での生息の可能性も考えられる。工事の実施により、一時的に計画地及びその周囲から逃避することが予測されるが、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種は計画地内では確認されなかったが、本種は森林から人家周辺までの多様な環境に生息しており、施設の存在により生息環境の一部が改変されるが、計画地内の緑地面積を十分確保するとともに、周辺の植生と調和を図る計画であり、計画地内の緑地を生息場所として利用することは可能であると考えられる。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。なお、新たに設置される散策道脇などに空隙のある石積環境等を設ける等、より利用しやすい生息環境を創出することが望ましい。</p> |

表 5.5-13(4) 爬虫類予測結果（ヤマカガシ）

| 種名/重要種<br>カテゴリー          | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ヤマカガシ<br>/千葉県：一般<br>保護生物 | 分布    | 本州～九州、周辺の島々。県内全域に生息する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|                          | 形態    | 褐色の地色に、黒色、黄色、赤色の斑紋があり、幼体では頸部の黄色のリングが目立つ。体の鱗にはキールがあり、体色は地域変異が大きい。頸部には防御用の毒を分泌する腺がある。                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                          | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                          |       | ・山地から平地まで生息。<br>・平地の水田や小川、湿地などに多く、水辺ではよく水に入り、主に昼間に活動する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                          |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                          |       | 主にカエル類を食べる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                          | 繁殖    | 産卵は6月～8月。卵は小さく数が多い（6～43個）。卵は40日くらいで孵化する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                          | 確認状況  | 計画地外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                          | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種は計画地外で確認された。本種の生息に適した平地の水田や小川、湿地等の水辺環境は、計画地の南側に存在している。工事期間中においては計画地下流の水域に濁水が流入しないように濁水対策を実施する。</p> <p>以上のことから工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種は計画地外で確認された。本種は平地の水田や小川、湿地等の水辺環境に生息しており、計画地内には、本種の生息に適した環境は存在しないことから、計画地は本種の主要な生息場所ではないものと考えられる。また、施設の存在により、計画地外の本種の生息場所に影響を及ぼすことは考えにくい。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響は実行可能な範囲で回避されていると考えられる。</p> |

表 5.5-13(5) 爬虫類予測結果（シマヘビ）

| 種名/重要種<br>カテゴリー        | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| シマヘビ<br>/千葉県：要保<br>護生物 | 分布    | 北海道～九州、周辺の島々。県全域から記録がある。日本固有種。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                        | 形態    | 麦藁色の地色に褐色の4本のストライプを有する中型のヘビ。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                        | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                        |       | ・比較的開けた草原、湿地、水田などに生息<br>・気性は荒く、敏捷でよく噛む。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                        |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        |       | カエル類、ネズミ類、トカゲ類、鳥類等様々な脊椎動物を捕食する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                        | 繁殖    | 交尾期は4月～6月、7月～8月に4～16個の卵を産む。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                        | 確認状況  | 計画地内で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                        | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種は計画地内で確認された。工事の実施により、一時的に計画地及びその周囲から逃避することが予測されるが、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種が確認された草地環境はそのまま維持され、新たに造成緑地や緑地遊歩道など、本種が利用可能な生息環境が創出される。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響はほとんどないものと考えられる。なお、新たに設置される散策道脇などに空隙のある石積環境等を設ける等、より利用しやすい生息環境を創出することが望ましい。</p> |

(ウ) 昆虫類

昆虫類の重要種はツノトンボ、ヤマトシリアゲ、ジャノメチョウ、エサキオサムシ、ゲンジボタルの5種である。

昆虫類の重要種の予測結果は、表 5.5-14 に示すとおりである。

表 5.5-14(1) 昆虫類予測結果（ツノトンボ）

| 種名/重要種<br>カテゴリー         | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ツノトンボ<br>/千葉県:要保護<br>生物 | 分布    | 本州、四国、九州、東アジア。                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                         | 形態    | 開張 70mm 前後、トンボに似るがトンボ目ではなく、触角が翅と同じぐらい長い。                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                         | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                         |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                         |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                         | 確認状況  | 計画地外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                         | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種が確認された計画地外の草地環境はそのまま維持される。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で回避されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種が確認された草地環境はそのまま維持され、新たに造成緑地や緑地遊歩道など、本種が利用可能な生息環境が創出される。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響はほとんどないものと考えられる。なお、新たに設置される散策道脇などに空隙のある石積環境等を設ける等、より利用しやすい生息環境を創出することが望ましい。</p> |

表 5.5-14(2) 昆虫類予測結果（ヤマトシリアゲ）

| 種名/重要種<br>カテゴリー            | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                     |
|----------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ヤマトシリアゲ<br>/千葉県:一般保<br>護生物 | 分布    | 本州、四国、九州。                                                                                                                                                                                                                              |
|                            | 形態    | 前翅の長さ 15mm 内外。翅の斑紋の化は大きい。秋のものは全体褐色を帯びる。                                                                                                                                                                                                |
|                            | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                               |
|                            |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                     |
|                            |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                     |
|                            | 確認状況  | 計画地内で確認                                                                                                                                                                                                                                |
|                            | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種が確認された計画地内の樹林環境はそのまま維持される。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で回避されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種が確認された樹林環境はそのまま維持され、新たに造成緑地や緑地遊歩道など、本種が利用可能な生息環境が創出される。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響はほとんどないものと考えられる。</p> |

表 5.5-14(3) 昆虫類予測結果（ジャノメチョウ）

| 種名/重要種<br>カテゴリー           | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ジャノメチョウ<br>/千葉県:要保護<br>生物 | 分布    | 北海道～九州、伊豆諸島（大島、新島、神津島）、佐渡島、対馬。ヨーロッパ～東アジア。                                                                                                                                                                                                                                            |
|                           | 形態    | 前翅長 30-41mm。雄は黒褐色の地色で、雌はより大型で茶褐色の地色に眼状紋が発達する。                                                                                                                                                                                                                                        |
|                           | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                           |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                           |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                           | 確認状況  | 計画地内で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                           | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種が確認された計画地内の林縁環境であり、工事の実施により確認箇所の林縁環境は改変されるが、本種の主な生息環境である草地等の環境は計画地内外に存在する。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種が確認された林縁環境は改変されるが、新たに造成緑地や緑地遊歩道など、本種が利用可能な生息環境が創出される。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響はほとんどないものと考えられる。</p> |

表 5.5-14(4) 昆虫類予測結果（エサキオサムシ）

| 種名/重要種<br>カテゴリー           | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| エサキオサムシ<br>/千葉県:要保護<br>生物 | 分布    | 関東地方から新潟県にかけて分布している。本州（関東～新潟県）。                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                           | 形態    | 体長 18-23mm。クロオサムシの 1 亜種。                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                           | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                           |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                           |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                           | 確認状況  | 計画地内外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                           | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種が確認された計画地内の樹林環境は、工事の実施により一部が改変されるが、本種の主な生息環境である樹林環境は計画地内外に存在する。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種が確認された樹林環境は改変されるが、新たに造成緑地や緑地遊歩道など、本種が利用可能な生息環境が創出され、計画地内の緑化は、周辺の植生と調和を図る計画である。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響はほとんどないものと考えられる。</p> |

表 5.5-14(5) 昆虫類予測結果（ゲンジボタル）

| 種名/重要種カテゴリー           | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ゲンジボタル<br>/千葉県:重要保護生物 | 分布    | 本州、四国、九州。                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                       | 形態    | 体長 10～16mm。よく知られた種で、本科としては大型、前胸は黄橙色で中央にやや不明瞭な十字架紋を持つ。成虫は梅雨どきに出現し、ときに灯火にも飛来する。                                                                                                                                                                                                                  |
|                       | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                       |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                       |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                       | 確認状況  | 計画地外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                       | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種の確認箇所は計画地外であり、事業実施による直接的な影響はないものと考えられる。また、工事期間中においては計画地下流の水域に濁水が流入しないように濁水対策を実施し、本種の生息環境である水域を保全する。</p> <p>以上のことから工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種の確認箇所は計画地外であり、本種の生息が確認された水域及びその周囲は改変しない。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響は回避されていると考えられる。</p> |

## (I) 鳥類

鳥類の重要種は、ホトトギス、アマツバメ、トビ、ツミ、ハイタカ、オオタカ、サシバ、ノスリ、カワセミ、カケス、ツバメ、ヤブサメ、キビタキ、ホオジロの 14 種である。なお、ツミについては、生態系の上位性種の中で確認例が最も多いことから生態系の上位性種としたため、予測結果は生態系に記載した。

鳥類の重要種の予測結果は、表 5.5-15 に示すとおりである。

表 5.5-15(1) 鳥類予測結果（ホトトギス）

| 種名/重要種<br>カテゴリー     | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ホトトギス<br>/千葉県：要保護生物 | 分布    | 冬期は、南に渡る。中国南部、ベトナム等の東南アジアで越冬する。日本からロシア、中国、朝鮮半島にかけて繁殖する。<br>九州以北の山地の林に渡来し繁殖する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|                     | 形態    | 色彩、形ともカッコウにとてもよく似ているがひとまわり小さい。胸の黒色の横じまはカッコウより太めで粗い。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                     | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                     |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                     |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                     | 確認状況  | 計画地内外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|                     | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種は計画地内外で確認されたが、本種の生息に適した樹林環境は計画地の周辺に広く存在する。また、本種は夏鳥として飛来するが、計画地における繁殖に関わる行動は確認されなかった。工事の実施により、一時的に計画地及びその周囲から逃避することが予測されるが、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種の主要な生息環境は森林であり、施設の存在により生息環境である森林の一部が改変されるが、計画地内の緑化は、周辺の植生と調和を図る計画であり、計画地内の緑地を生息場所として利用することは可能であると考えられる。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> |

表 5.5-15(2) 鳥類予測結果（アマツバメ）

| 種名/重要種<br>カテゴリー       | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アマツバメ<br>/千葉県：最重要保護生物 | 分布    | ロシアから中国にかけて広い範囲で繁殖する。繁殖後は南に渡り、越冬する。国内では夏鳥。本州以北で繁殖する。<br>繁殖分布は局地的である。冬期は南に渡る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                       | 形態    | 体型はツバメに似るが、腰の羽色が白色を示し、下面は黒色で翼が長い。くちばしは短いが開くと大きい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                       | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                       |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|                       |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|                       | 確認状況  | 計画地内外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                       | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種は計画地内外で確認されたが、本種の確認は秋季の渡りの途上での飛来と考えられ、計画地は本種の主要な生息場所ではないと考えられる。飛来時においては工事の実施により、一時的に計画地及びその周囲から逃避することが予測されるが、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種は秋の渡り途上に一時的に飛来したのと考えられる。また、計画地内の緑化にあたっては、緑地面積を十分確保するとともに、周辺の植生と調和を図る計画であり、計画地内の緑地を休息場所等として利用することは可能であると考えられる。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> |

表 5.5-15(3) 鳥類予測結果(トビ)

| 種名/重要種<br>カテゴリー       | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| トビ<br>/千葉県：一般<br>保護生物 | 分布    | 海岸線から山地にまで分布する。砂漠や北極圏を除くユーラシア、アフリカ、オーストラリア各大陸に広く分布する。<br>高緯度地方で繁殖する個体は、熱帯アフリカや東南アジアに渡り越冬する。ほとんどの地域で周年みられる。北海道から九州で繁殖する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                       | 形態    | 「ピーヒョロロ」とよく鳴く。全体が黒褐色。飛んだ時翼の下面の初列風切基部に淡褐色の斑が出る。<br>尾は長めで広げると先端は横に直線になりたたくと凹型になる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                       | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                       |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                       |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                       | 確認状況  | 計画地内外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                       | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種は計画地内外の上空で確認されたが、確認された行動は飛翔のみであり、採餌や繁殖に関わる行動は確認されなかったことから、計画地は本種の主要な生息場所ではないと考えられる。工事期間中は、一時的に計画地及びその周囲への飛来がなくなることが予測されるが、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種の確認は計画地及びその周囲の上空における飛翔のみであり、計画地は本種の主要な生息場所ではないと考えられる。また、計画地内の緑化にあたっては、緑地面積を十分確保するとともに、周辺の植生と調和を図る計画であり、計画地内の緑地を生息場所等として利用することは可能であると考えられる。</p> <p>以上のことから、施設の使用による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> |

表 5.5-15(4) 鳥類予測結果(ハイタカ)

| 種名/重要種<br>カテゴリー                           | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ハイタカ<br>/環境省：準絶<br>滅危惧、千葉<br>県：重要保護生<br>物 | 分布    | ユーラシア大陸の中・高緯度地方と北アフリカで繁殖する。アフリカ・インド・東南アジア等に渡り越冬する。<br>国内では北海道と本州で繁殖する。主に山地で営巣する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                                           | 形態    | 小型のタカの仲間。オスはおおよそハトくらいの大きさ、オスはメスより小さい。オスの体重はメスの半分くらいしかない。<br>翼は短めで先に丸みがり尾は長め。顔の白い眉斑が目立つ。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                                           | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                                           |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                                           |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                                           | 確認状況  | 計画地内外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                                           | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種は計画地内外で確認されたが、本種の確認は冬季の飛翔にのみであり、計画地は本種の主要な生息場所ではないと考えられる。飛来時においては工事の実施により、一時的に計画地及びその周囲から逃避することが予測されるが、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種の確認は冬季のみであることから、計画地は本種の主要な生息場所ではないと考えられる。また、計画地内の緑化にあたっては、緑地面積を十分確保するとともに、周辺の植生と調和を図る計画であり、計画地内の緑地を生息場所等として利用することは可能であると考えられる。</p> <p>以上のことから、施設の使用による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> |

表 5.5-15(5) 鳥類予測結果（オオタカ）

| 種名/重要種<br>カテゴリー                                          | 項目     |              | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----------------------------------------------------------|--------|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| オオタカ<br>/国内希少野生<br>動植物種、環境<br>省：準絶滅危<br>惧、千葉県：重<br>要保護生物 | 分布     |              | 北極圏周辺を除く、ユーラシア大陸・北アメリカ大陸北部で繁殖する。本州および北海道で繁殖する。<br>近年、中国地方や四国でも繁殖例が知られ、九州以北で広く繁殖している可能性がある。非繁殖期は、全国で見られる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                                                          | 形態     |              | 森林性のタカ類。目の後方は黒く眉斑は白色で目立つ。尾には4本の色っぽい帯がる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                                                          | 生<br>態 | 生息環境及<br>び習性 | 森林だけでなく、河川敷や湖沼畔等の湿地でも見られる。農耕地、牧草地。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                                          |        | 食性           | 主にハト類等の中型の鳥類を捕食する。キジ類やカモ類等やリス類・ノウサギ等の哺乳類も捕食する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                                                          |        | 繁殖           | 産卵期は4月あるいは5～6月である。通常3-4卵を産む。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                                                          | 確認状況   |              | 計画地外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                                                          | 影響予測等  |              | <b>【工事の実施】</b><br>本種は計画地外で春季及び秋季に確認されており、計画地は本種の主要な生息場所ではないと考えられる。飛来時においては工事の実施により、一時的に計画地及びその周囲から逃避することが予測されるが、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。<br>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。<br><b>【土地又は工作物の存在及び供用】</b><br>本種の確認は春季及び秋季のみであることから、計画地は本種の主要な生息場所ではないと考えられる。また、計画地内の緑化にあたっては、緑地面積を十分確保するとともに、周辺の植生と調和を図る計画であり、計画地内の緑地を生息場所等として利用することは可能であると考えられる。<br>以上のことから、施設の存在による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。 |

表 5.5-15(6) 鳥類予測結果（サシバ）

| 種名/重要種<br>カテゴリー                            | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                       |
|--------------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| サシバ<br>/環境省：絶滅<br>危惧Ⅱ類、千葉<br>県：最重要保護<br>生物 | 分布    | 中国北東部・ロシアのウスリー地方等、ユーラシア大陸極東部で繁殖する。冬期は南に渡る。南西諸島から東南アジアで越冬する。<br>国内では夏鳥である。岩手県・秋田県より南の本州・四国・九州及び伊豆諸島・対馬等で繁殖する。南西諸島では少数が越冬する。<br>主に谷津田周辺の雑木林で繁殖する。                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                       |
|                                            | 形態    | 頭から背、尾、翼の上面、胸は赤褐色で尾には黒褐色の帯が4本ある。顔には白い眉斑があり、のども白くその中央に黒色の縦斑がある。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                       |
|                                            | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 人家近くの里山、雑木林、森林、水田、丘陵地                                 |
|                                            |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ヘビ・カエル・トカゲ等両生・爬虫類を主に捕食する。小鳥、昆虫。                       |
|                                            |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 5月初旬までに2-4卵を生む。抱卵期間は約1ヶ月である。雛は孵化後40-45日である7月中旬までに巣立つ。 |
|                                            | 確認状況  | 計画地内外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                       |
|                                            | 影響予測等 | 【工事の実施】<br>本種は春季に計画地内で、秋季に計画地外で確認されており、計画地は本種の主要な生息場所ではないと考えられる。飛来時においては工事の実施により、一時的に計画地及びその周囲から逃避することが予測されるが、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。<br>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。<br>【土地又は工作物の存在及び供用】<br>本種の確認は春季及び秋季のみであることから、計画地は本種の主要な生息場所ではないと考えられる。また、計画地内の緑化にあたっては、緑地面積を十分確保するとともに、周辺の植生と調和を図る計画であり、計画地内の緑地を生息場所等として利用することは可能であると考えられる。<br>以上のことから、施設の存在による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。 |                                                       |

表 5.5-15(7) 鳥類予測結果（ノスリ）

| 種名/重要種<br>カテゴリー   | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ノスリ<br>/千葉県：要保護生物 | 分布    | 山地の森林で繁殖する。ユーラシア大陸の温帯から亜寒帯域とアフリカの一部で繁殖する。高緯度地方で繁殖する個体は、温暖な地域に渡り、越冬する。<br>北海道・本州・四国で繁殖する。冬期は各地で見られる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                   | 形態    | トビよりやや小さい。背、翼の上面は褐色で淡褐色の羽緑がある。頭から体の下面は淡い黄褐色。尾は広げると円型になる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                   | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                   |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                   |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                   | 確認状況  | 計画地内外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                   | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種は冬季に計画地内で、秋季に計画地外で確認されており、計画地は本種の主要な生息場所ではないと考えられる。飛来時においては工事の実施により、一時的に計画地及びその周囲から逃避することが予測されるが、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種の確認は冬季及び秋季のみであることから、計画地は本種の主要な生息場所ではないと考えられる。また、計画地内の緑化にあたっては、緑地面積を十分確保するとともに、周辺の植生と調和を図る計画であり、計画地内の緑地を生息場所等として利用することは可能であると考えられる。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> |

表 5.5-15(8) 鳥類予測結果（カワセミ）

| 種名/重要種<br>カテゴリー    | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|--------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カワセミ<br>/千葉県：要保護生物 | 分布    | 全国に分布し、繁殖する。北日本の山地や北海道で繁殖する個体は、南に渡る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                    | 形態    | 頭から翼の上面、尾は青色がかった緑色、背は光沢のある鮮やかな青色。下面全体は橙赤色がかった褐色。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                    | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                    |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                    |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                    | 確認状況  | 計画地外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                    | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種は計画地外で確認された。確認は飛翔のみであり、採餌や繁殖に関わる行動は確認されなかった。また、本種の生息に適した河川や池沼等の水辺は計画地内に存在しないことから、計画地は本種の主要な生息場所ではないと考えられる。工事の実施により、一時的に計画地及びその周囲から逃避することが予測されるが、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。また、工事期間中においては計画地下流の水域に濁水が流入しないように濁水対策を実施する。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種は計画地外で確認された。確認は飛翔のみであり、採餌や繁殖に関わる行動は確認されなかった。また、本種の生息に適した河川や池沼等の水辺は計画地内に存在しないことから、計画地に飛来する可能性はほとんどないものと考えられる。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響は実行可能な範囲で回避されていると考えられる。</p> |

表 5.5-15(9) 鳥類予測結果（カケス）

| 種名/重要種<br>カテゴリー   | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カケス<br>/千葉県：要保護生物 | 分布    | 高山や砂漠地帯を除く、ユーラシア大陸の中・低緯度地方で広く繁殖する。国内では屋久島以北の北海道、本州、四国、九州に分布する。<br>山地で繁殖する個体の一部は、低地に移動し越冬する。台地や山地の樹林で繁殖する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                   | 形態    | 他の動物や鳥類の声や機械音等のまねをする。頭は白地に黒の縦斑がありゴマ塩頭に見える。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                   | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                   |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                   |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                   | 確認状況  | 計画地外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                   | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種は計画地外で春季、秋季に確認されたが、本種は留鳥であることから年間を通じて、計画地及びその周囲の樹林に生息しているものと考えられる。なお、繁殖期には確認されていない。工事の実施により、一時的に計画地及びその周囲から逃避することが予測されるが、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種は計画地外での確認であるが、計画地の周囲には本種の主要な生息環境の樹林が存在している。また、計画地内の緑化にあたっては、緑地面積を十分確保するとともに、周辺の植生と調和を図る計画であり、計画地内の緑地を生息場所等として利用することは可能であると考えられる。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> |

表 5.5-15(10) 鳥類予測結果（ツバメ）

| 種名/重要種<br>カテゴリー    | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ツバメ<br>/千葉県：一般保護生物 | 分布    | 人家や駅・商店等の人の住む建造物の軒下に営巣する。北半球の温帯から亜寒帯で繁殖する。冬期は南に渡る。熱帯地域で越冬する。<br>国内では夏鳥。種子島以北の全国で繁殖する。北海道では主に道南に分布する。霞ヶ浦・浜名湖・九州では、越冬個体群が知られている。                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                    | 形態    | 額とのどは赤褐色で胸の上の方には黒い帯がある。尾は両外側が特に長い燕尾型で先の方に白斑があり開くと目立つ。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|                    | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                    |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                    |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                    | 確認状況  | 計画地内外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                    | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種は計画地内外で確認されたが、計画地内における本種の営巣は確認されなかった。工事中は一時的に計画地及びその周囲から逃避することが予測されるが、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種の営巣は確認されなかったことから、計画地へは採餌等のために一時的に飛来したものと考えられる。また、計画地内の緑化にあたっては、緑地面積を十分確保するとともに、周辺の植生と調和を図る計画であり、計画地内の緑地を生息場所等として利用することは可能であると考えられる。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> |

表 5.5-15(11) 鳥類予測結果（ヤブサメ）

| 種名/重要種<br>カテゴリー    | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ヤブサメ<br>/千葉県：要保護生物 | 分布    | よく茂った二次林やスギ林等の暗い森林で生活する。ウスリー地方、朝鮮半島等、日本海周辺等東アジアで繁殖する。台湾や東南アジアで越冬する。国内では夏鳥で、屋久島から北海道で繁殖する。南西諸島では少数が越冬している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                    | 形態    | 「シシシシシ———」とだんだん速くなる高い声で囀る。頭から背、尾、翼の上面は淡い暗褐色。下面は淡い褐色。静止時は背が水平になる。尾は極端に短い。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                    | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                    |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                    |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                    | 確認状況  | 計画地外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                    | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種は計画地外で確認された。本種の生息に適した樹林は計画地及びその周囲に広く存在する。工事の実施により、一時的に計画地及びその周囲から逃避することが予測されるが、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種は計画地外での確認であるが、本種の生息に適した樹林は計画地及びその周囲に広く存在する。また、計画地内の緑化にあたっては、緑地面積を十分確保するとともに、周辺の植生と調和を図る計画であり、計画地内の緑地を生息場所等として利用することは可能であると考えられる。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> |

表 5.5-15(12) 鳥類予測結果（キビタキ）

| 種名/重要種<br>カテゴリー      | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| キビタキ<br>/千葉県：最重要保護生物 | 分布    | 日本、中国山西省東部・ウスリー・サハリン等で繁殖する。東南アジアなどで越冬する。国内では夏鳥。九州以北のほぼ全国で繁殖する。屋久島から南西諸島では周年見られる。市原市や房総丘陵の養老川源流部を中心とした地域などで繁殖する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                      | 形態    | オスは腹部・腰が黄色、上面が黒色で目立つ。メスは、灰褐色で地味な色彩をしている。オスは姿も声も美しいため、飼鳥とされてきた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                      | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                      |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                      |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                      | 確認状況  | 計画地内外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                      | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種は計画地内外で確認された。本種の生息に適した樹林は計画地及びその周囲に広く存在する。工事の実施により、一時的に計画地及びその周囲から逃避することが予測されるが、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種は計画地内外で確認され、本種の生息に適した樹林は計画地及びその周囲に広く存在する。また、計画地内の緑化にあたっては、緑地面積を十分確保するとともに、周辺の植生と調和を図る計画であり、計画地内の緑地を生息場所等として利用することは可能であると考えられる。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> |

表 5.5-15(13) 鳥類予測結果（ホオジロ）

| 種名/重要種<br>カテゴリー        | 項目    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ホオジロ<br>/千葉県：要保<br>護生物 | 分布    | 低木やヤブの散在する環境に生息する。林縁や低木林で繁殖する。シベリア南部からモンゴル、アムール、ウスリー地方、中国、朝鮮半島、日本に分布する。主に種子島以北のほぼ全国に分布する。北方や山地で繁殖する個体は、低地や暖地に移動し、越冬する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        | 形態    | 全長 17 cm。越冬期、大きな群れは形成せず、数羽の小群を作る。顔は白と黒の模様で眉斑、ほお線、喉が白色。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        | 生態    | 生息環境及び習性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                        |       | 食性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                        |       | 繁殖                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                        | 確認状況  | 計画地外で確認。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                        | 影響予測等 | <p>【工事の実施】</p> <p>本種は計画地外で確認された。本種の生息に適した草原は計画地及びその周囲に存在する。工事の実施により、一時的に計画地及びその周囲から逃避することが予測されるが、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。</p> <p>以上のことから、工事の実施による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> <p>【土地又は工作物の存在及び供用】</p> <p>本種は計画地外での確認であるが、本種の生息に適した草原は計画地及びその周囲に存在する。また、計画地内の緑化にあたっては、本種の生息環境である造成緑地が新たに出現し、緑地面積を十分確保するとともに、周辺の植生と調和を図る計画であり、計画地内の緑地を生息場所等として利用することは可能であると考えられる。</p> <p>以上のことから、施設の存在による影響は実行可能な範囲で低減されていると考えられる。</p> |

## ②評価の結果

### ア. 環境影響の回避・低減に関する評価

工事の実施及び施設の存在に伴う動物相への影響を低減するため、以下の環境保全措置を講じる。

- ・ 工事期間中は、低騒音・低振動型の建設機械を使用するとともに、施工エリア以外への無用な立入を禁止し、工事による影響を軽減する。
- ・ 工事期間中においては計画地下流の水域に濁水が流入しないように濁水対策を実施し、生息環境である水域を保全する。
- ・ 計画地外の草地環境はそのまま維持する。
- ・ 緑化にあたっては、緑地面積を十分確保するとともに、周辺の植生と調和を図る。
- ・ 新たに設置される散策道脇などに空隙のある石積環境等を設ける等、より利用しやすい生息環境を創出する。

これらの措置を講じることにより、工事の実施及び施設の存在に伴う動物相への影響は、実行可能な範囲内でできる限り低減されているものと評価する。